

株式会社400F

---

# オカネコ お金に関する調査 2023

調査レポート

---

## 目次

01.調査概要	2P
02 .調査結果詳細	3P~42P
03. Appendix 調査画面一覧	43P~45P

## 調査概要

調査方法	インターネット調査（※GMOリサーチ株式会社が提供するJapan Cloud パネルを利用）						
調査実施期間	2023年11月17日- 2023年11月20日						
設問数	スクリーニング調査6問（性別/年齢/居住地/未既婚/職業の基本属性5問を含む） 本調査15問						
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別：男女</li> <li>年齢：20-60代</li> <li>地域：全国</li> <li>条件：なし</li> <li>サンプル数：500サンプル</li> <li>割付：性年代均等割付</li> </ul>						
		20代	30代	40代	50代	60代	合計
	男性	50	50	50	50	50	250
	女性	50	50	50	50	50	250
	合計	100	100	100	100	100	500

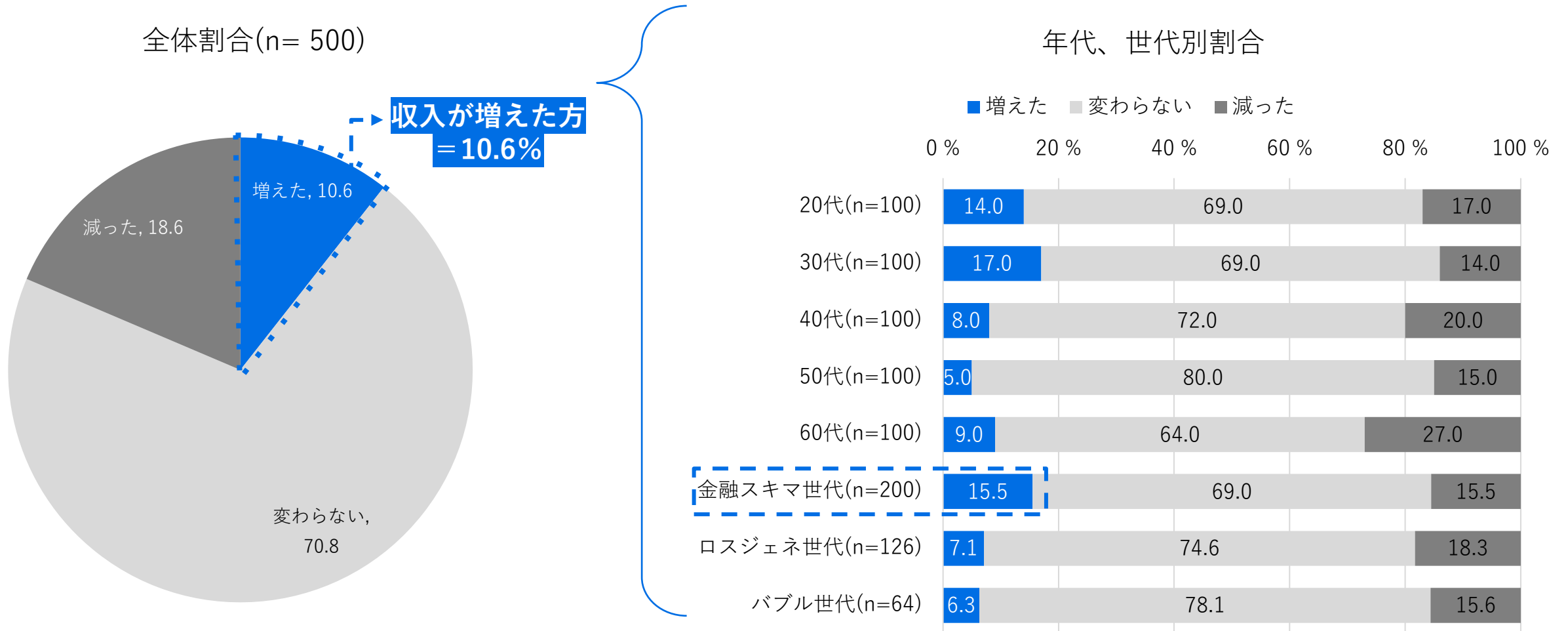
---

# 調査結果詳細

---

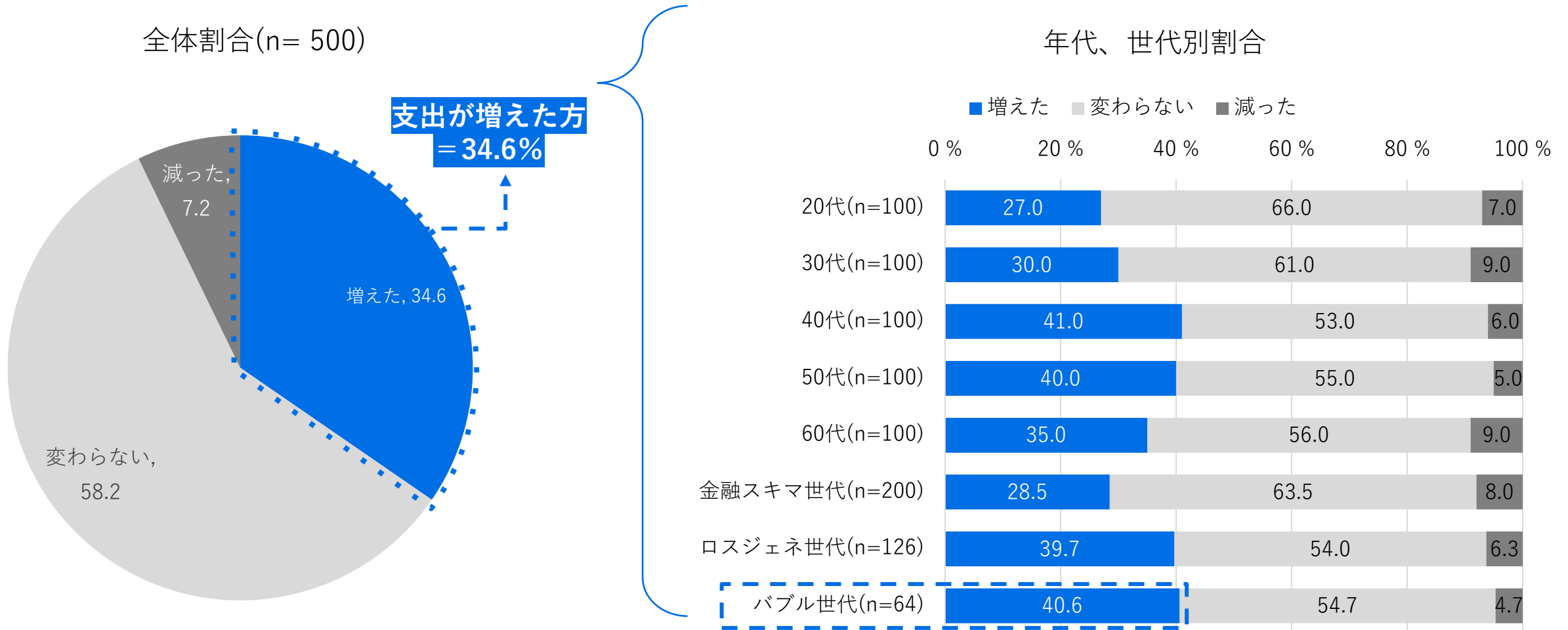
## 2022年→2023年の収入の変化

- ✓ 昨年と比べ収入が増えたと回答した人は10.6%
- ✓ 世代別では、「金融スキマ世代（15.5%）」が最も多い結果に



## 2022年→2023年の支出の変化

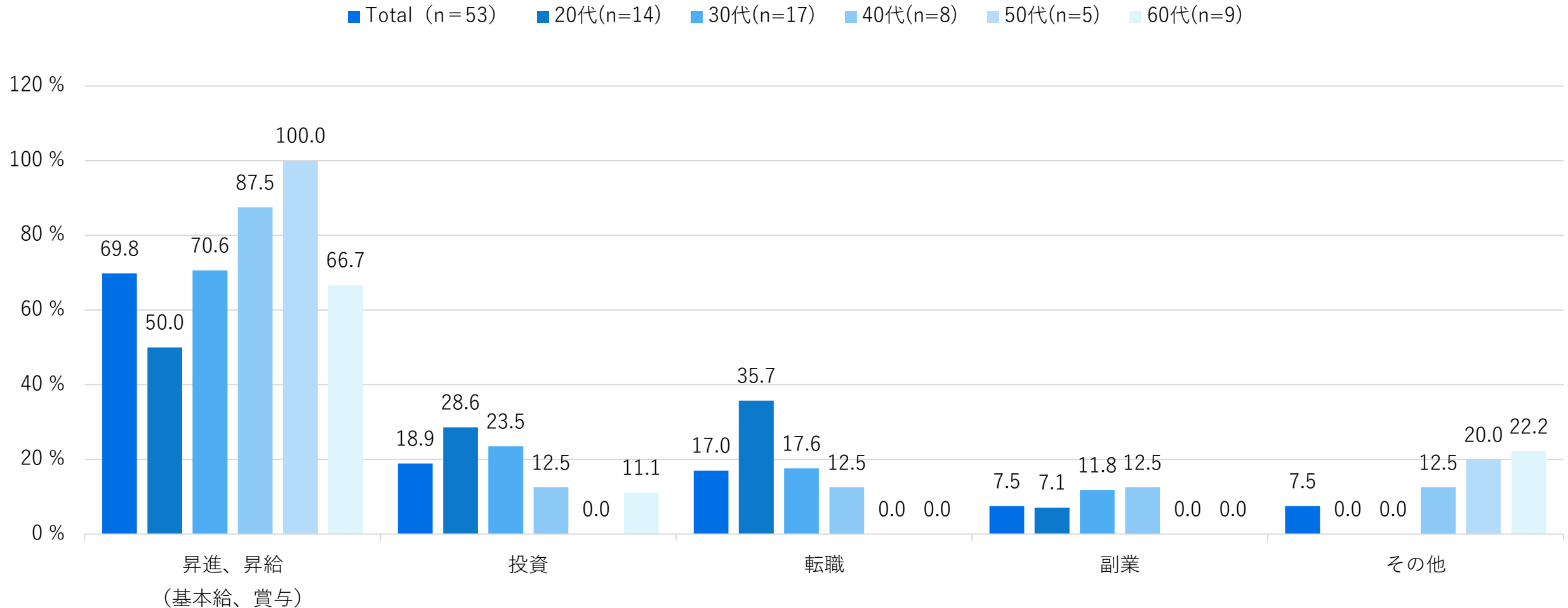
- ✓ 昨年と比べ支出が増えたと回答した人は34.6%
- ✓ 世代別では、「バブル世代（40.6%）」が最も多い結果に



## 収入が増えた理由（年代別）

- ✓ 収入が増えた理由TOP3「昇進・昇給（69.8%）」「投資（18.9%）」「転職（17.0%）」
- ✓ 年代別においても、全年代「昇進・昇給」が第一位という結果に

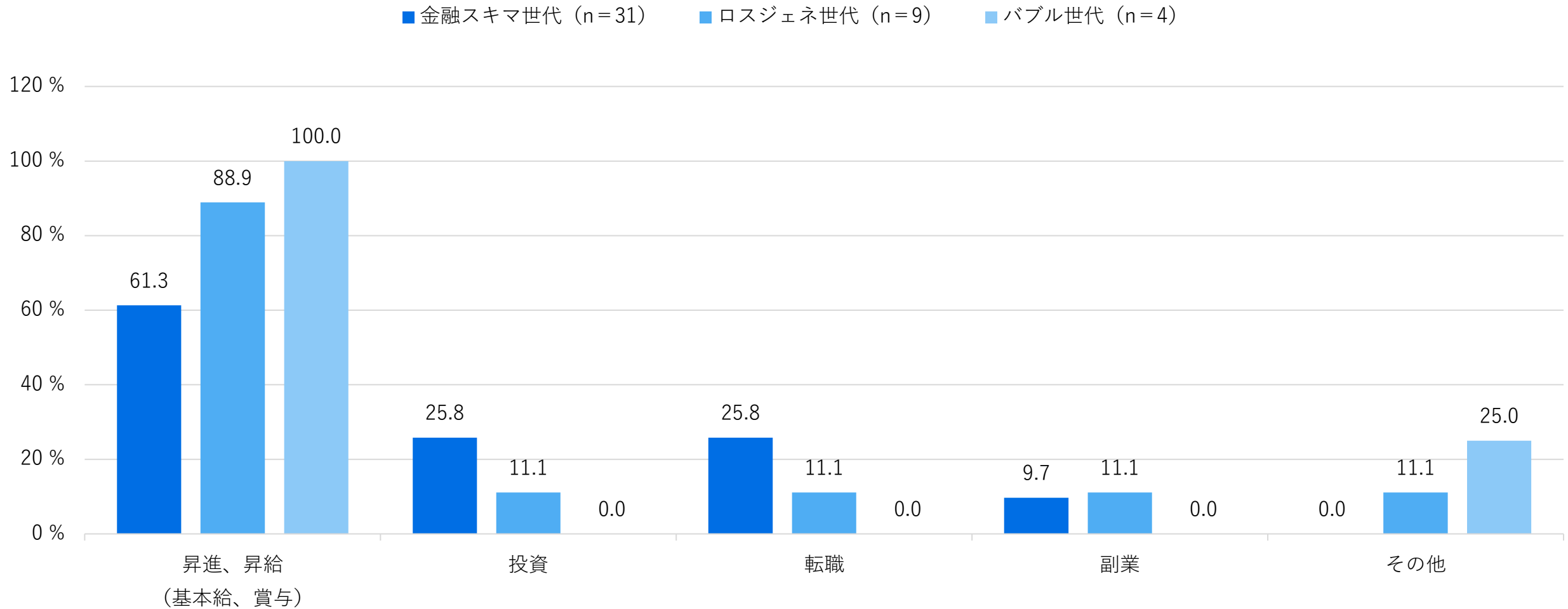
※年代別に関しては、n=30以下のため参考値として記載



Q2.前問で収入が増えたと回答した方に伺います。その理由として当てはまるものを全て教えてください。[MA]n=収入が増えた方(53)

## ✓ 世代別においても、全ての世代で「昇進・昇給」が第一位となった

※世代別：ロスジェネ世代・バブル世代に関しては、n=30以下のため参考値として記載

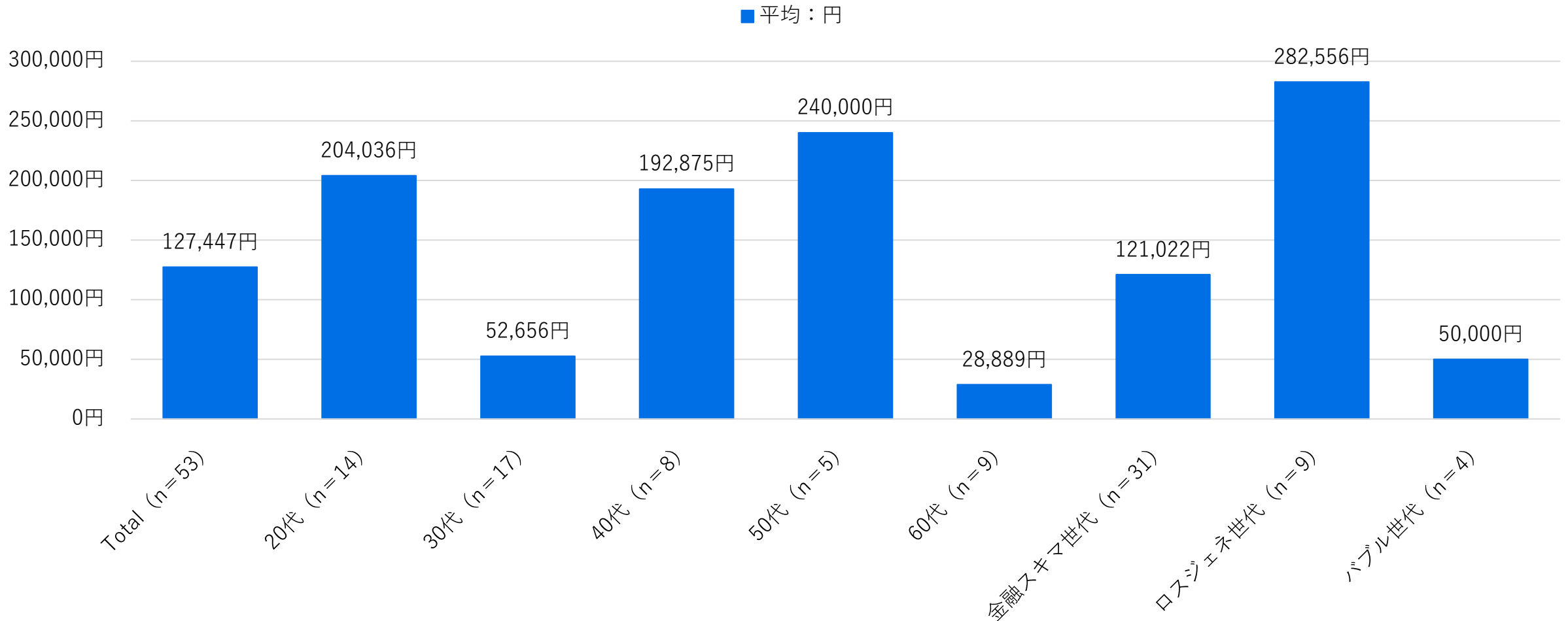


Q2.前問で収入が増えたと回答した方に伺います。その理由として当てはまるものを全て教えてください。[MA]n=収入が増えた方(53)



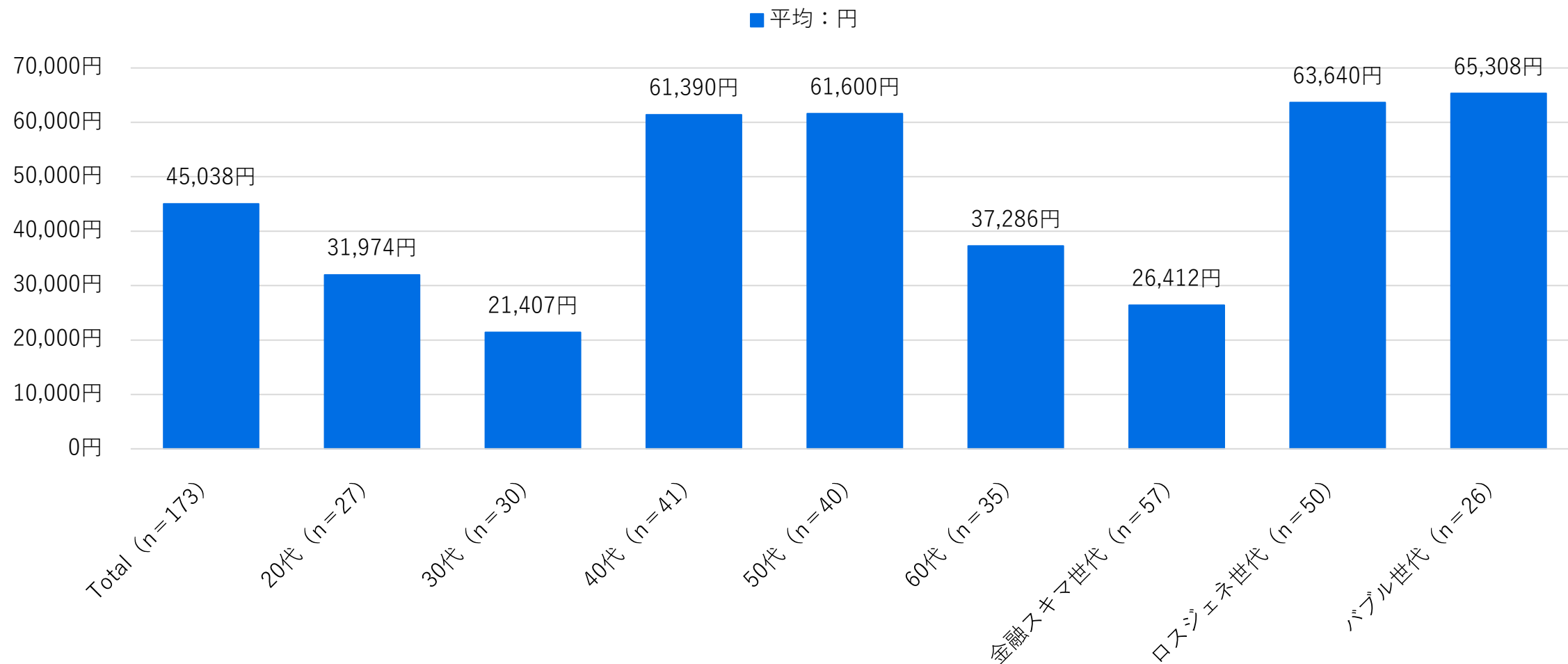
## ✓ 昨年と比べ増えた収入の月平均額は「127,447円」

※世代別：ロスジェネ世代・バブル世代、年代別：20～60代に関しては、n=30以下のため参考値として記載



Q3.収入または支出が増えた方にお伺いします。昨年（2022年）と今年（2023年）を比較し、月にどの程度収入または支出は増えましたか。（収入：円）[NUM]n=収入が増えた方（53）

✓ 昨年と比べ増えた支出の月平均額は「45,038円」

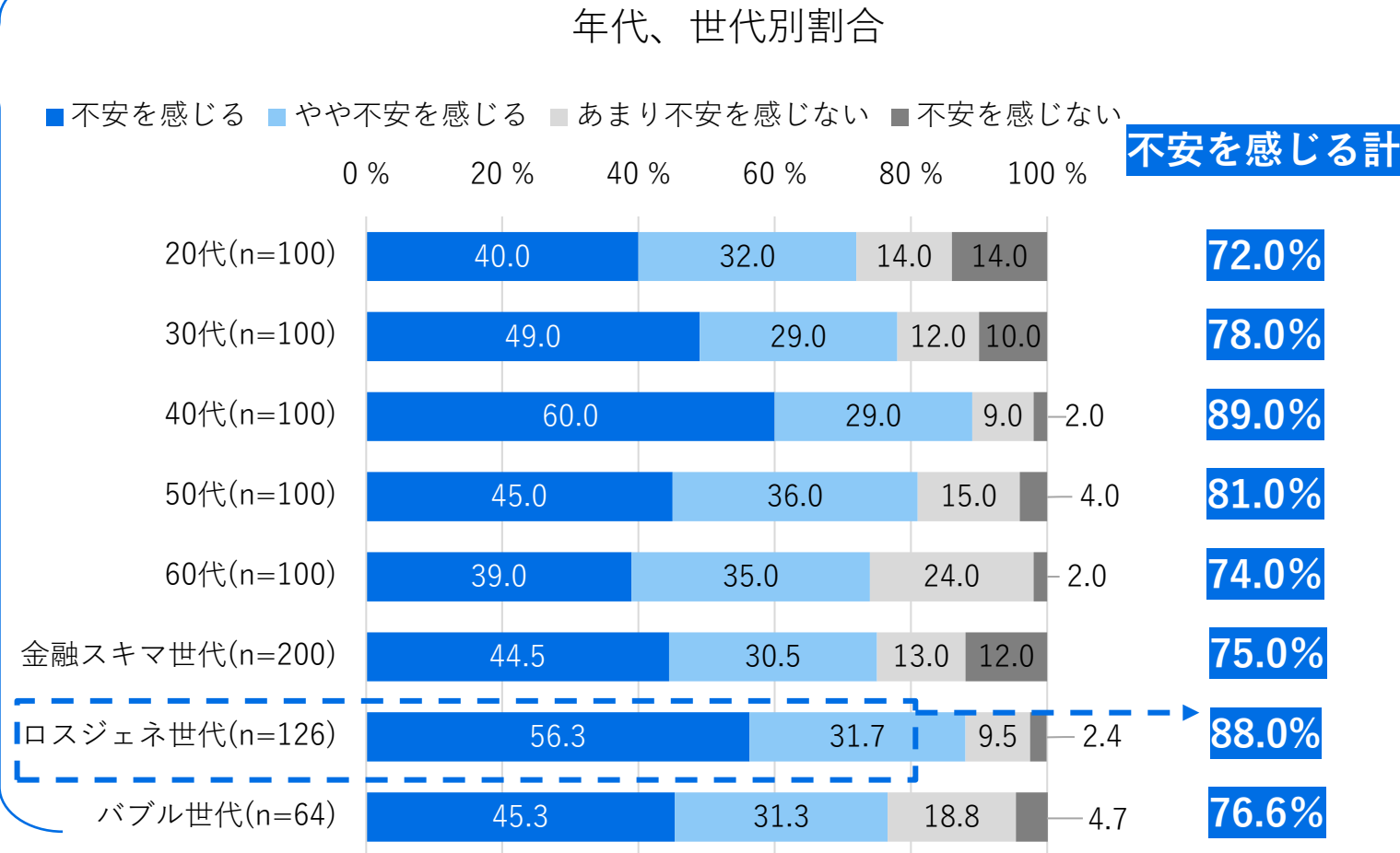
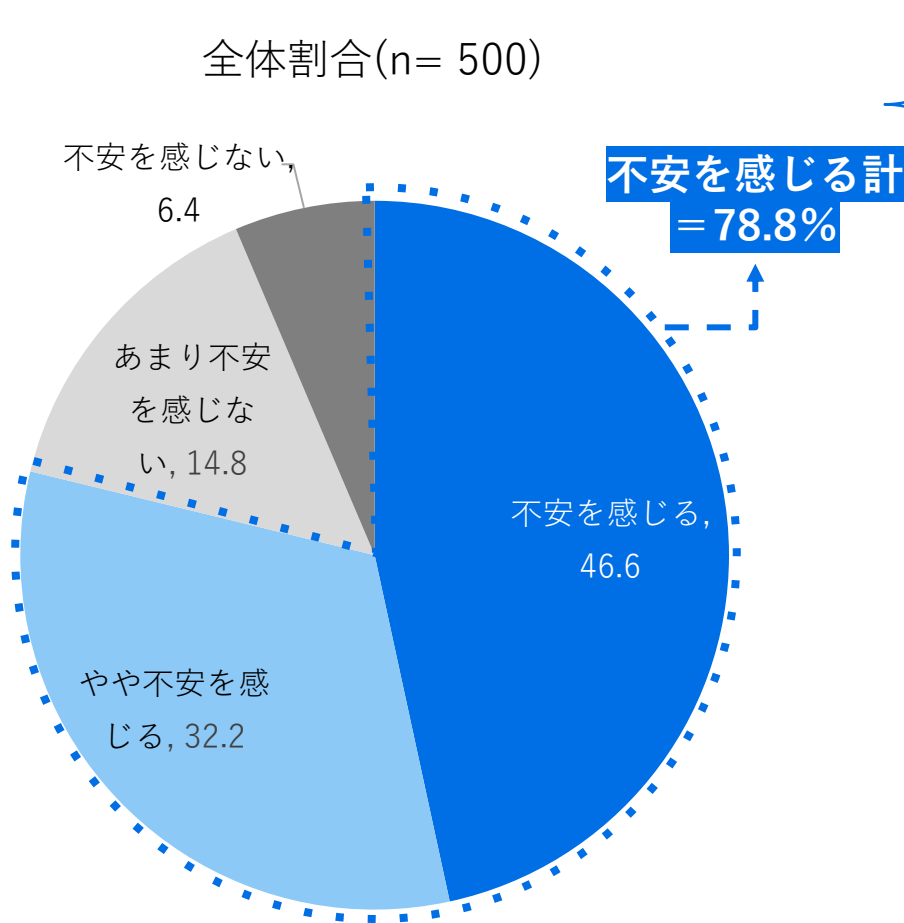


Q3.収入または支出が増えた方にお伺いします。昨年（2022年）と今年（2023年）を比較し、月にどの程度収入または支出は増えましたか。（支出：円）[NUM]n=支出が増えた方(173)

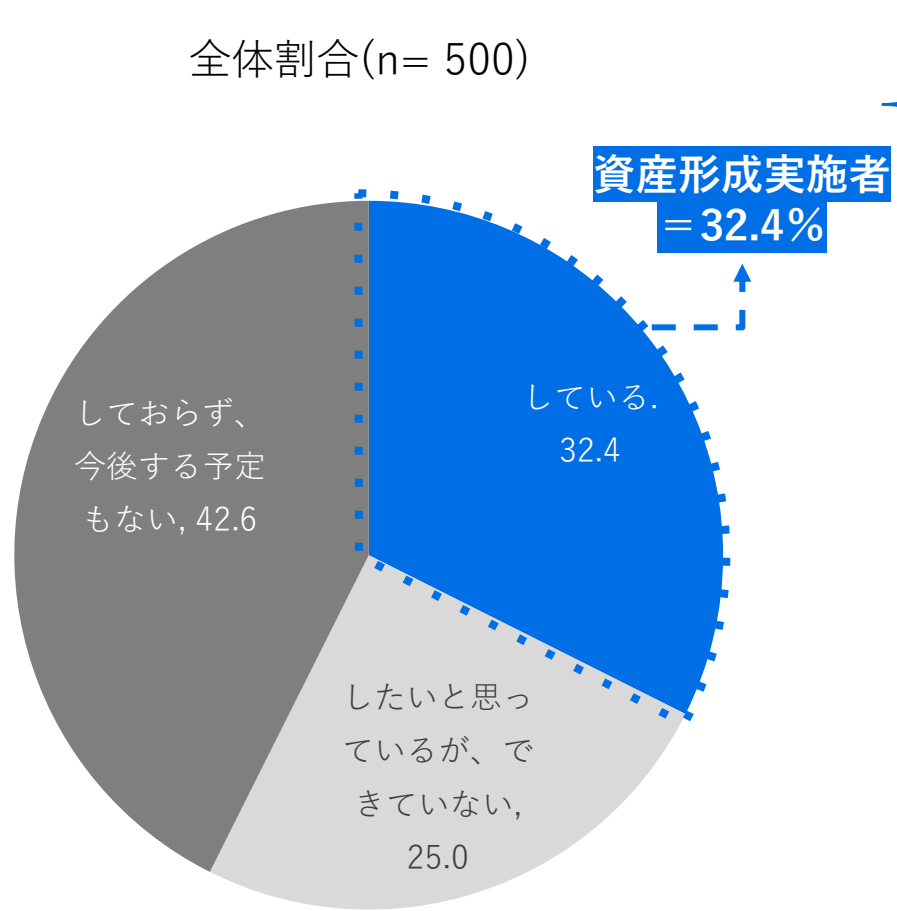
# 将来に対するお金の不安

- ✓ 将来に向けてお金に関する不安を感じている人は、8割（78.8%）
- ✓ 世代別では、「ロスジェネ世代」の約9割（88.0%）が不安を感じていると回答

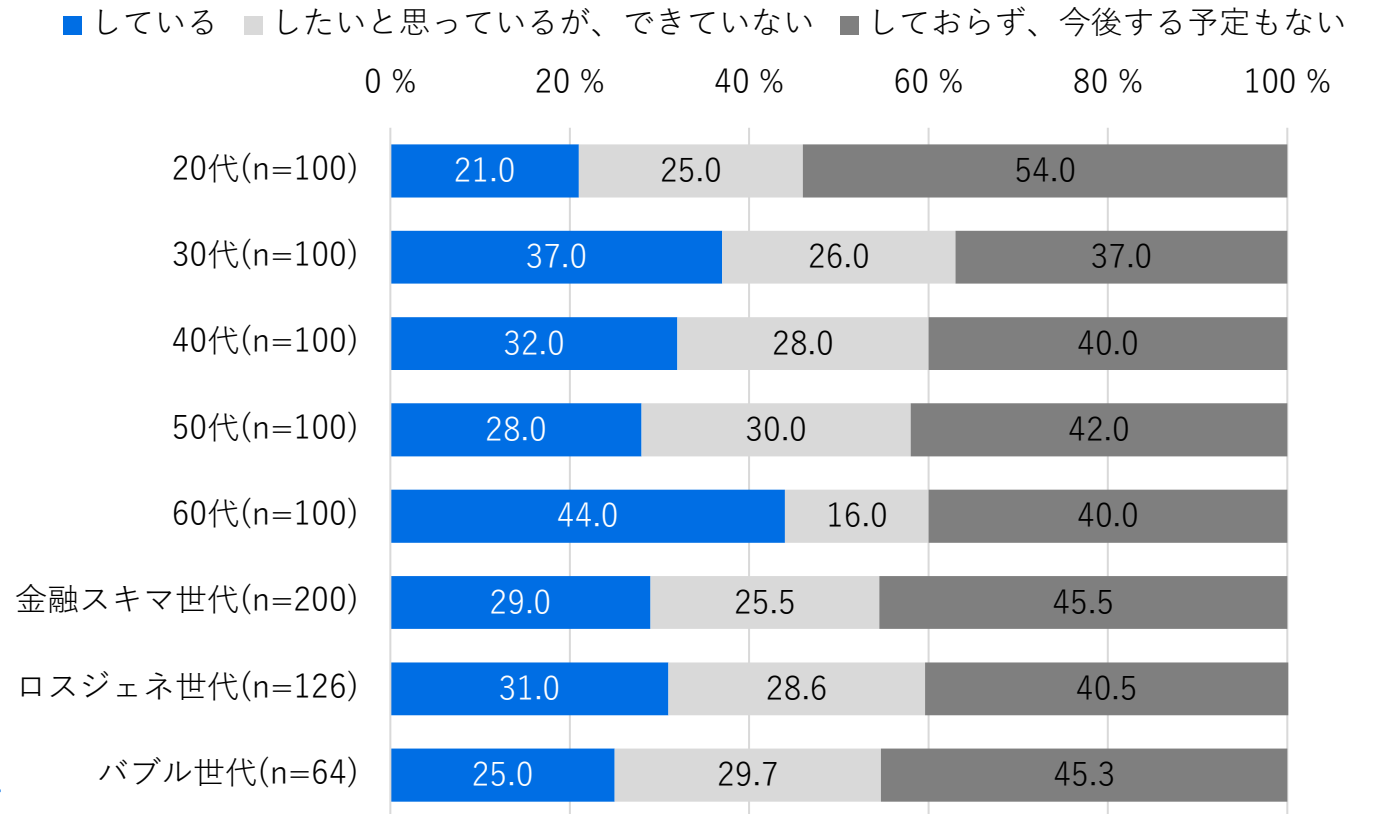
※不安を感じる計 = 不安を感じる + やや不安を感じるの合計値として算出



✓ 将来を見据え資産形成をしていると回答した人は32.4%



年代、世代別割合



Q5.あなたは将来を見据え資産形成（※保険、NISA、不動産投資、投資信託等）をしていますか。 [SA] n=ALL(500)

✓ 資産形成に対する価値観として当てはまるものは「資産形成について、気軽に相談できる相手がない（65.6%）」が最も多い ※当てはまる計=当てはまる+やや当てはまるの合計値として算出

■ 当てはまる ■ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

当てはまる計

資産形成について、気軽に相談できる相手がない



資産形成について、誰に聞いたらよいか分からない



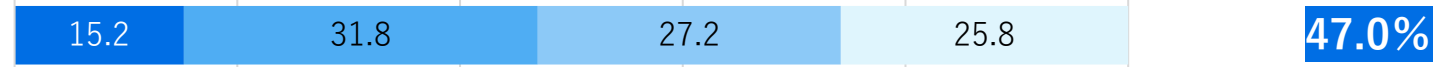
資産形成について分からない・判断できないことが多く、金融リテラシーを身に着ける必要性を感じている



資産形成に興味があるが、資金がない



資産形成に対してネガティブなイメージがあり、前向きに検討できない



資産形成に興味があり、現在情報収集しているが、何が正しい情報か、自分に合っているのか判断ができず行動に移せていない



資産形成について考えたことがない、興味がない



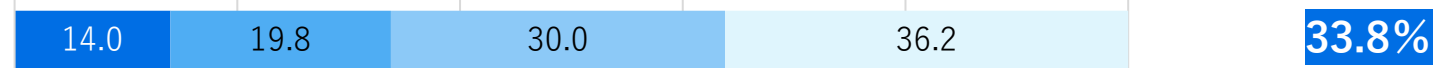
情報収集しながら自分に合った資産形成を検討・実施できていると感じている



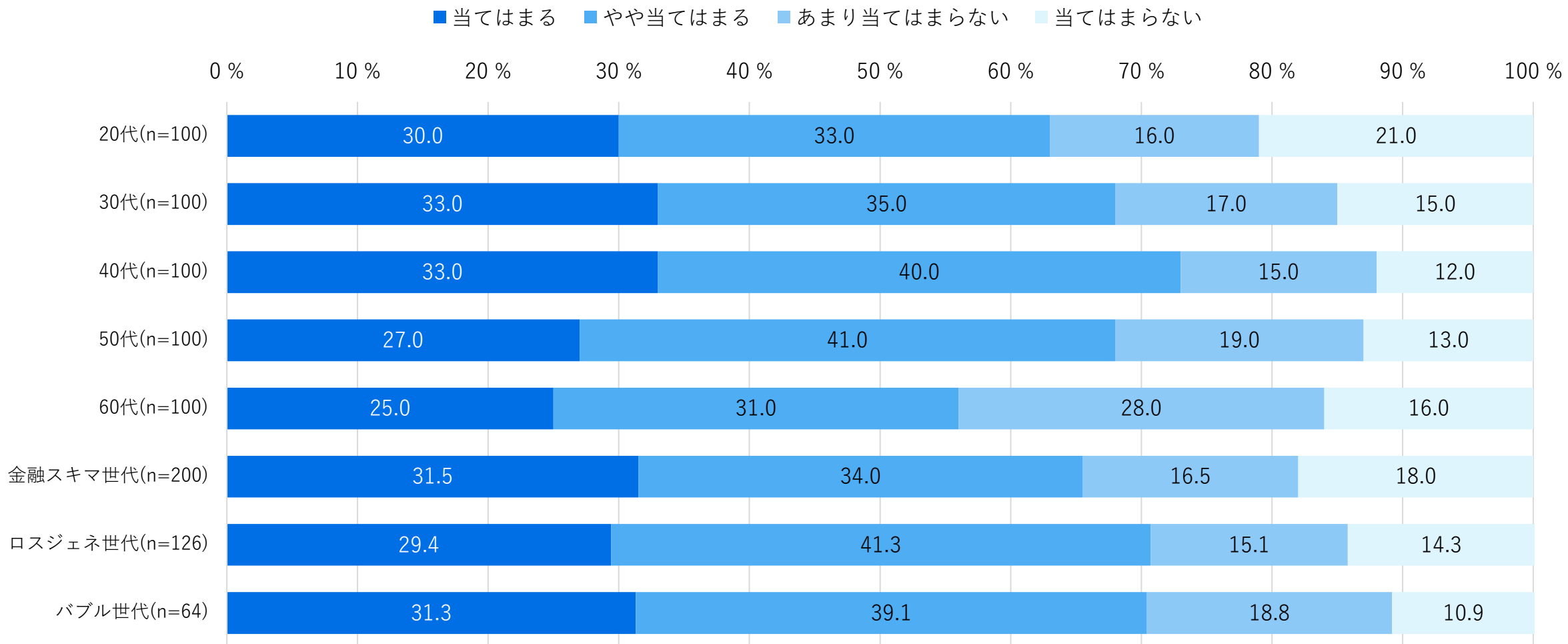
資産形成に興味があり、現在情報収集しながらある程度理想的な資産形成のイメージはできているが、行動に移せていない



資産形成について、自分には必要がないと感じている

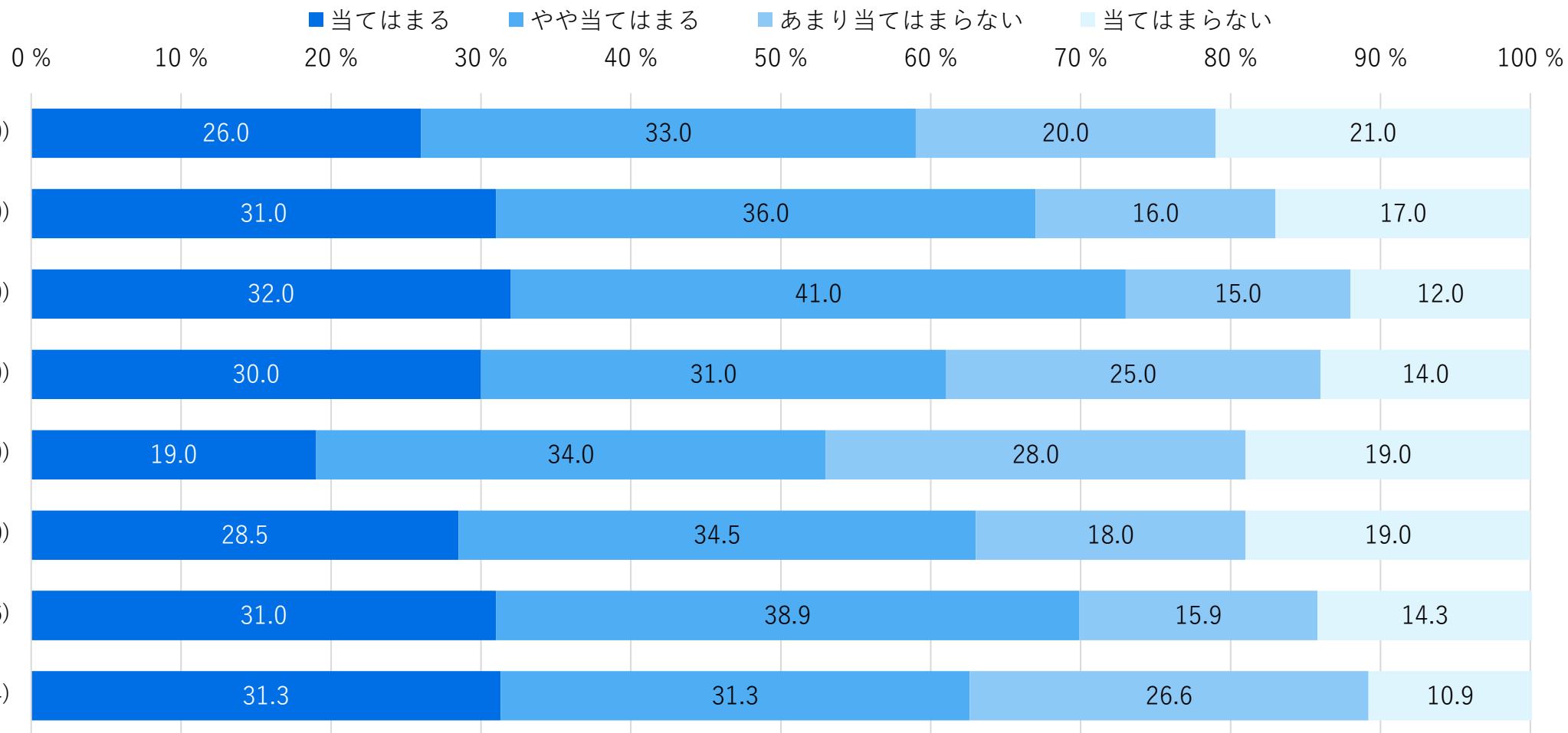


✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



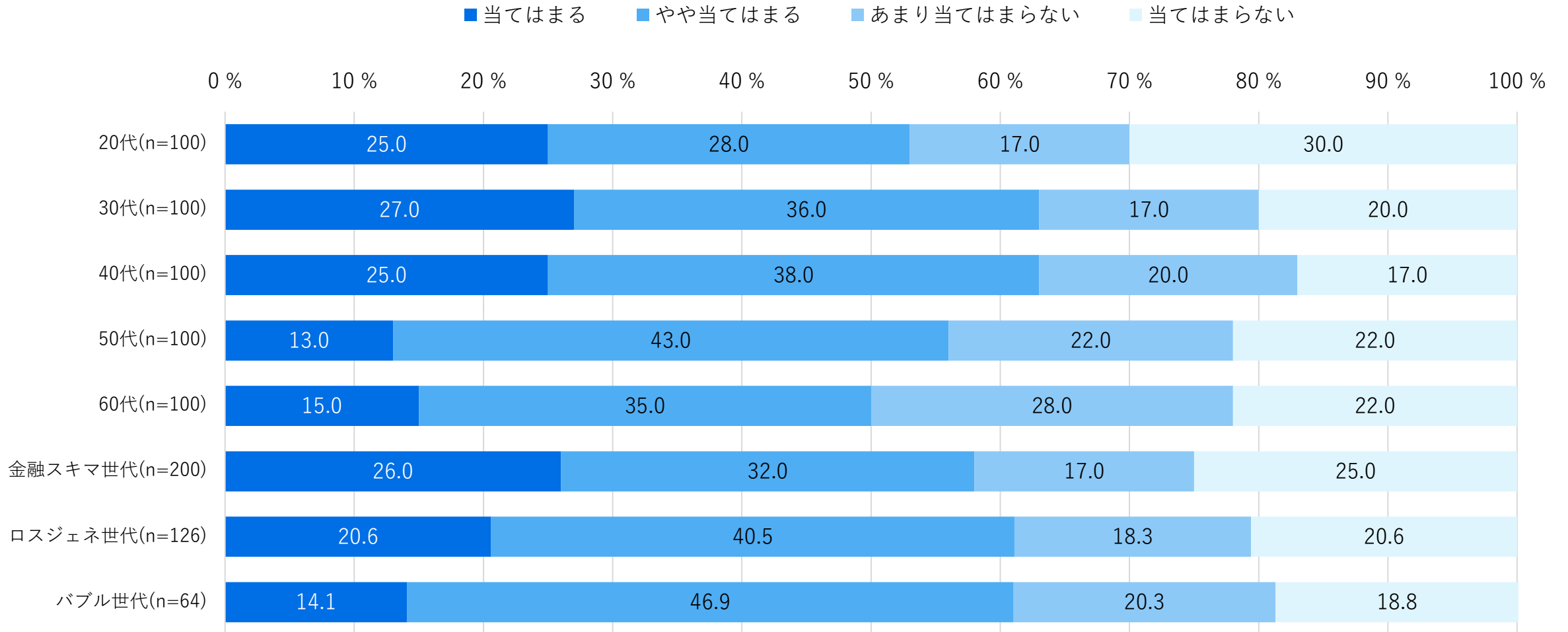
Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものをお選びください。[SA] n=ALL(500)

✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものをお選びください。[SA] n=ALL(500)

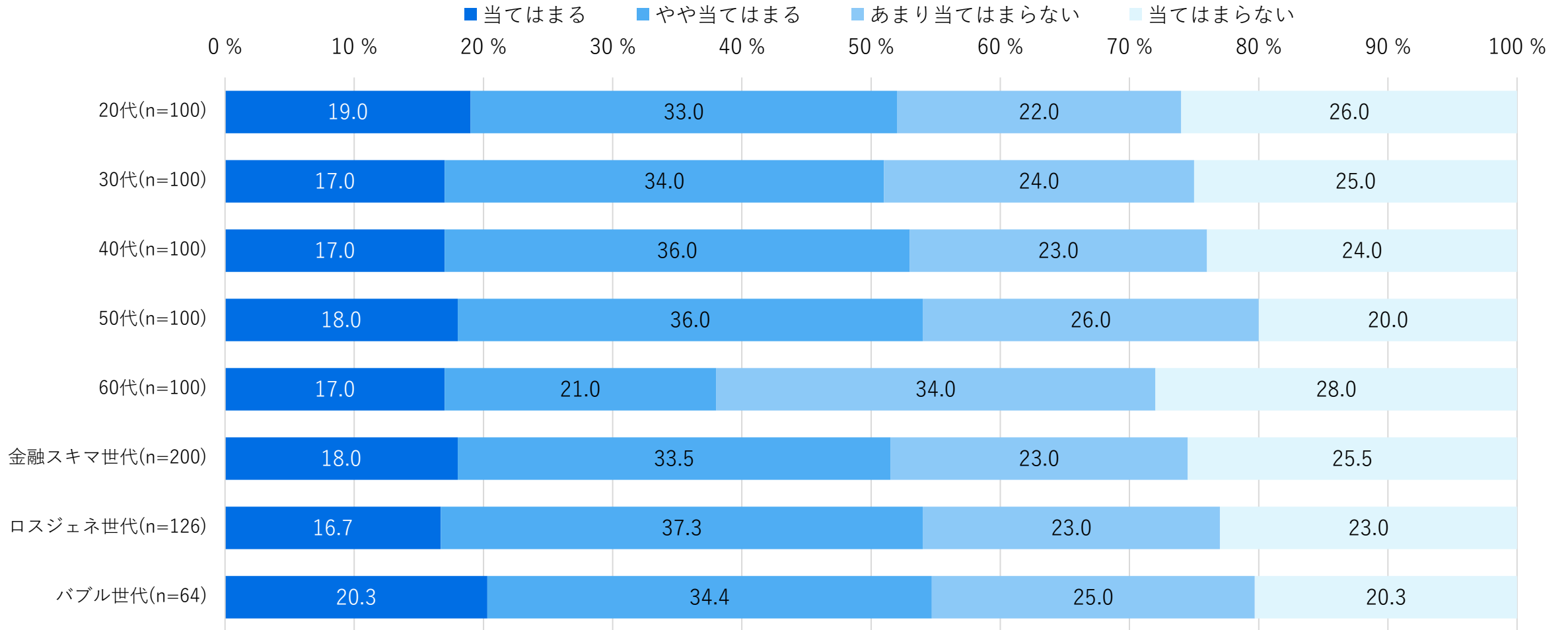
✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものをお選びください。[SA] n=ALL(500)

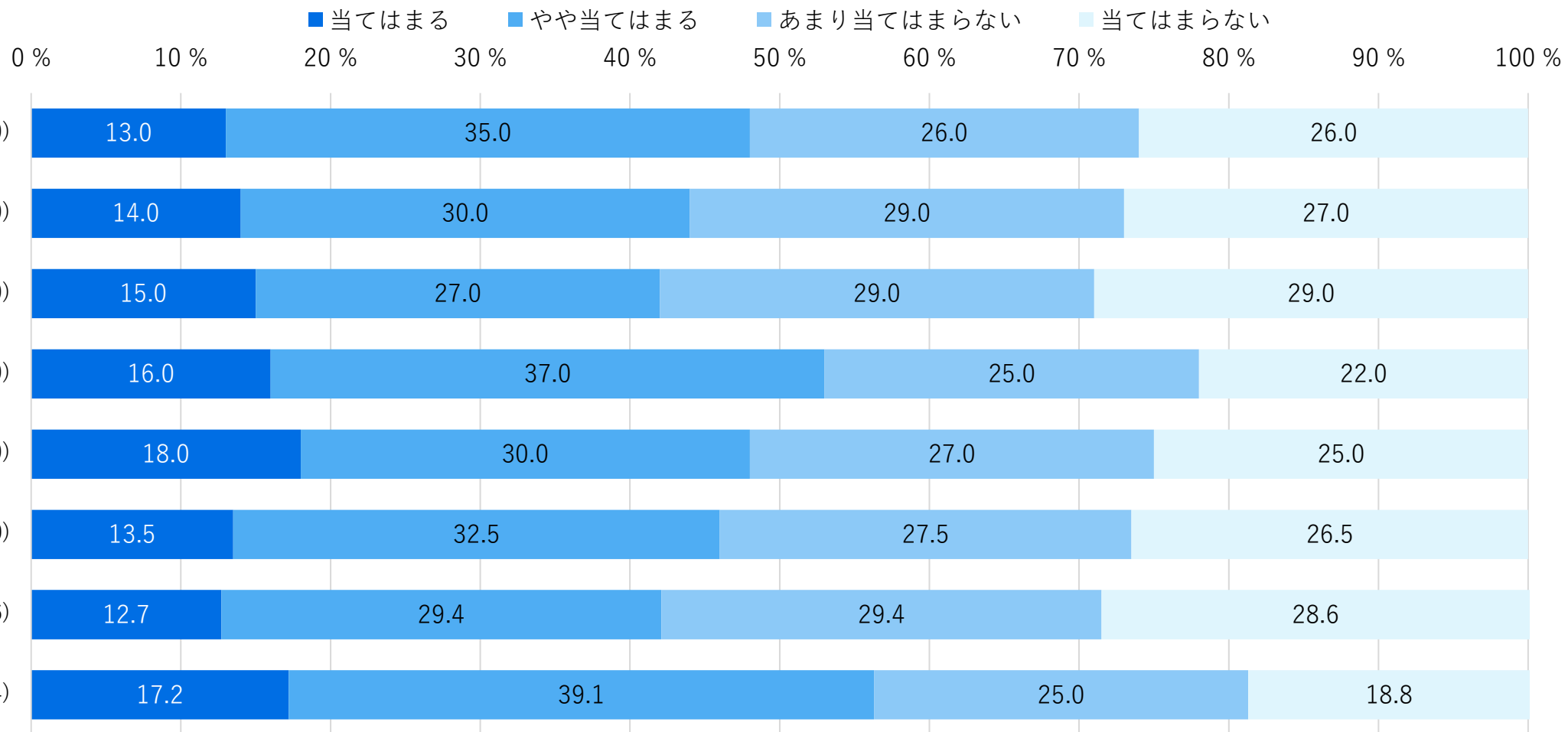


✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



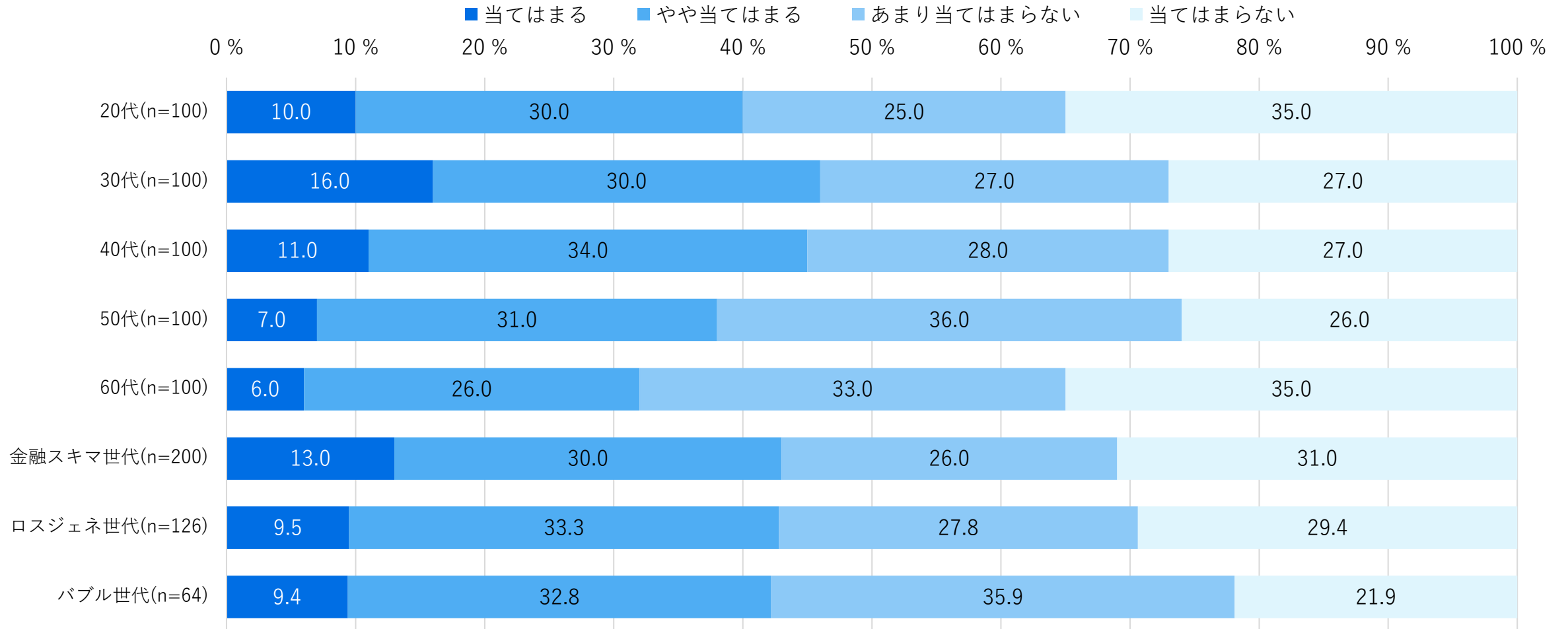
Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものをお選びください。[SA] n=ALL(500)

✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



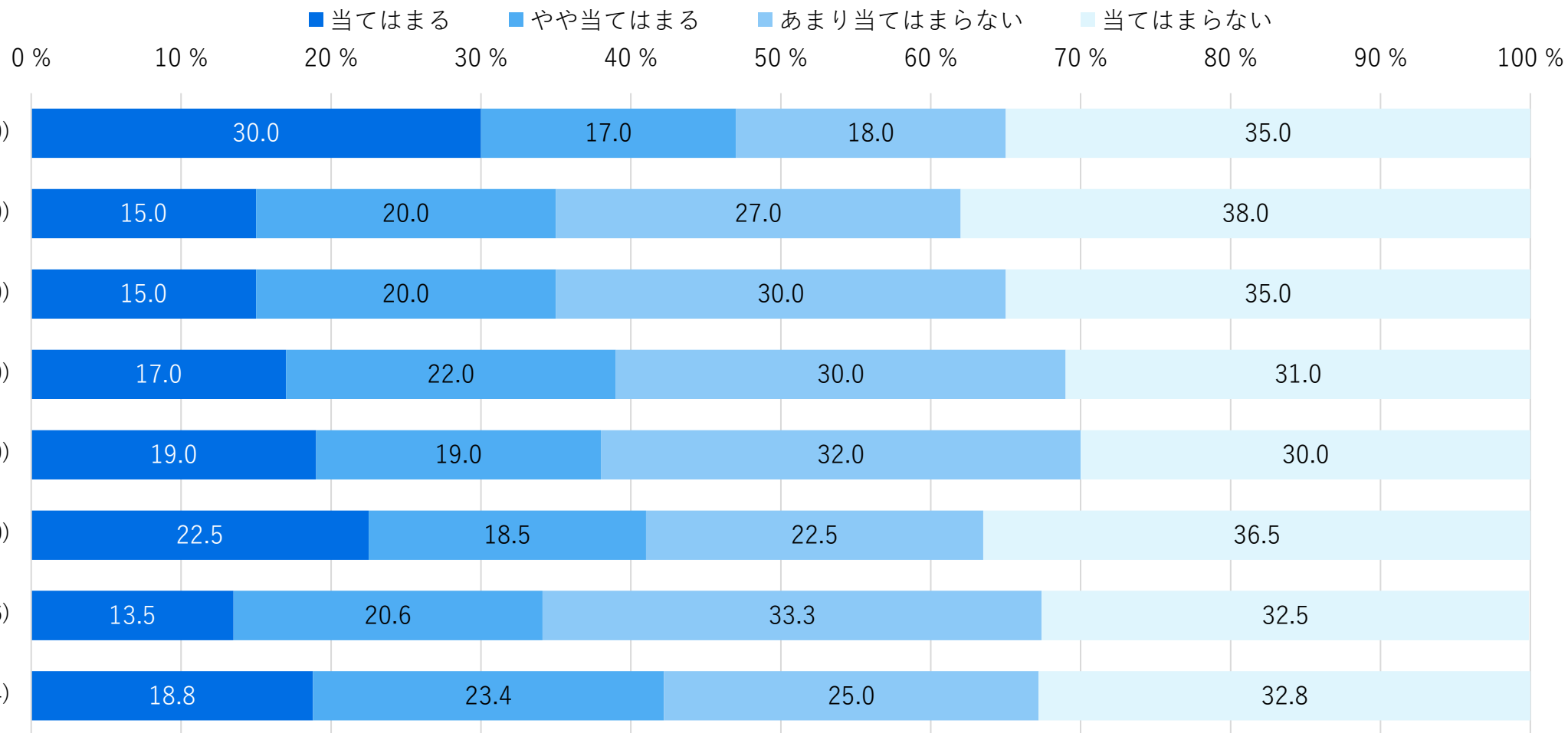
Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものお選びください。[SA] n=ALL(500)

✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



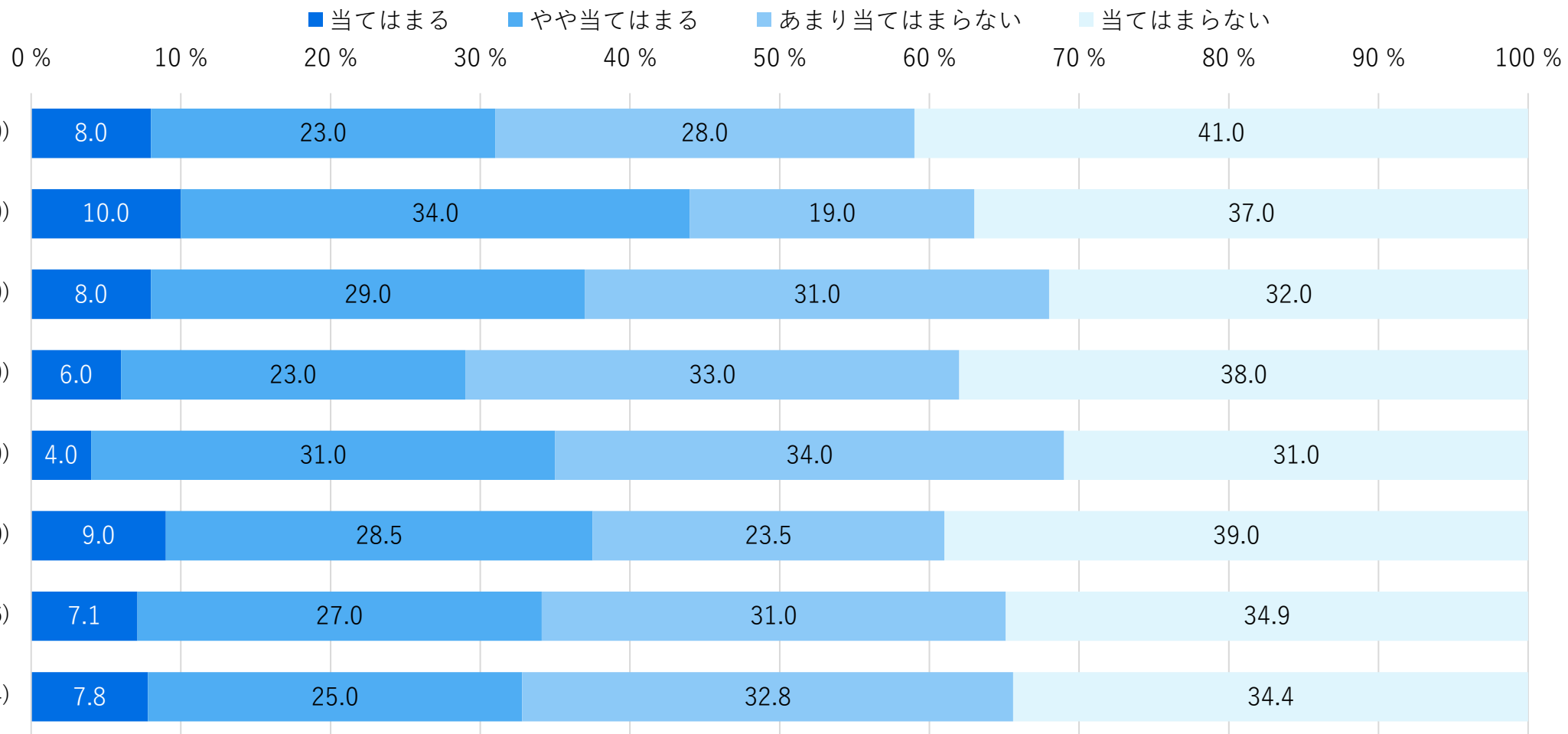
Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものお選びください。[SA] n=ALL(500)

✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



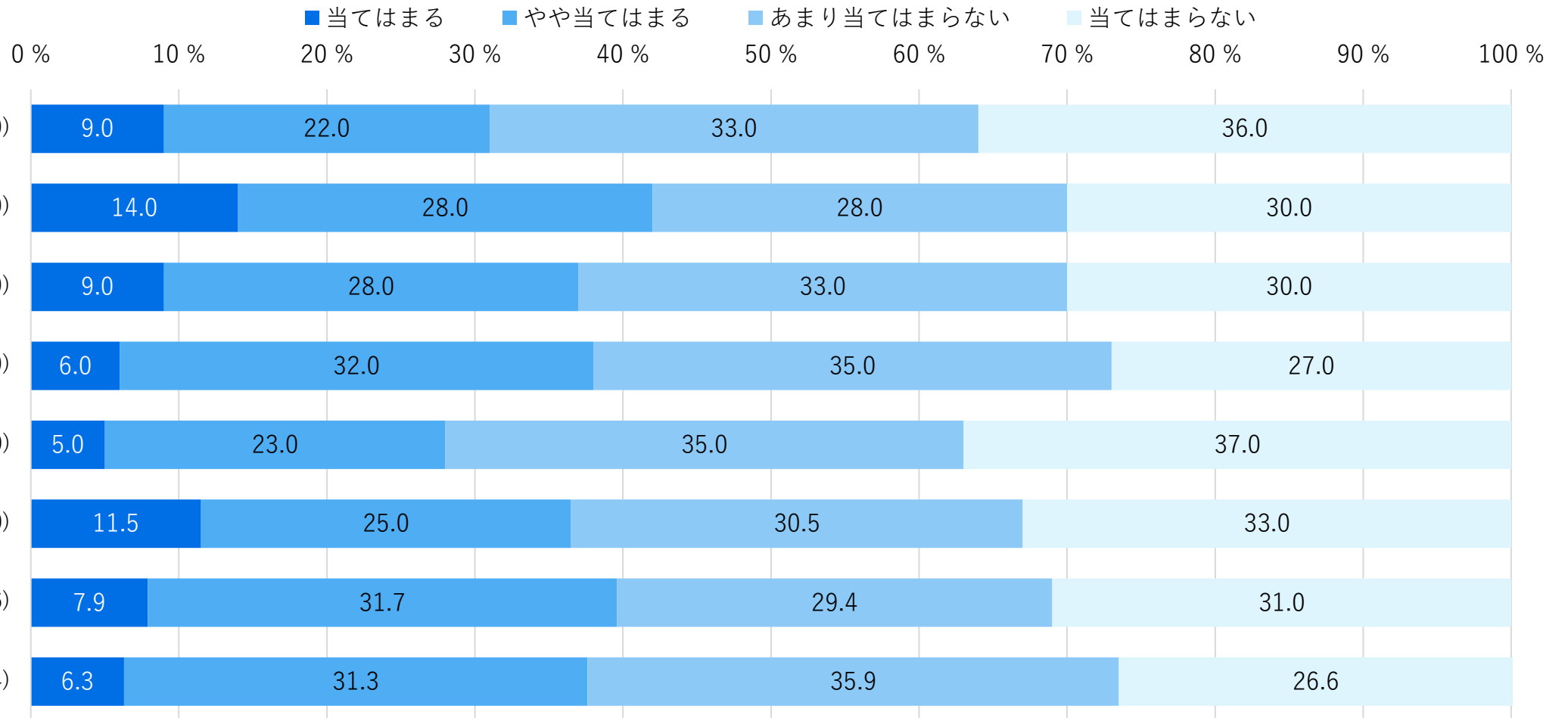
Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものをお選びください。[SA] n=ALL(500)

✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



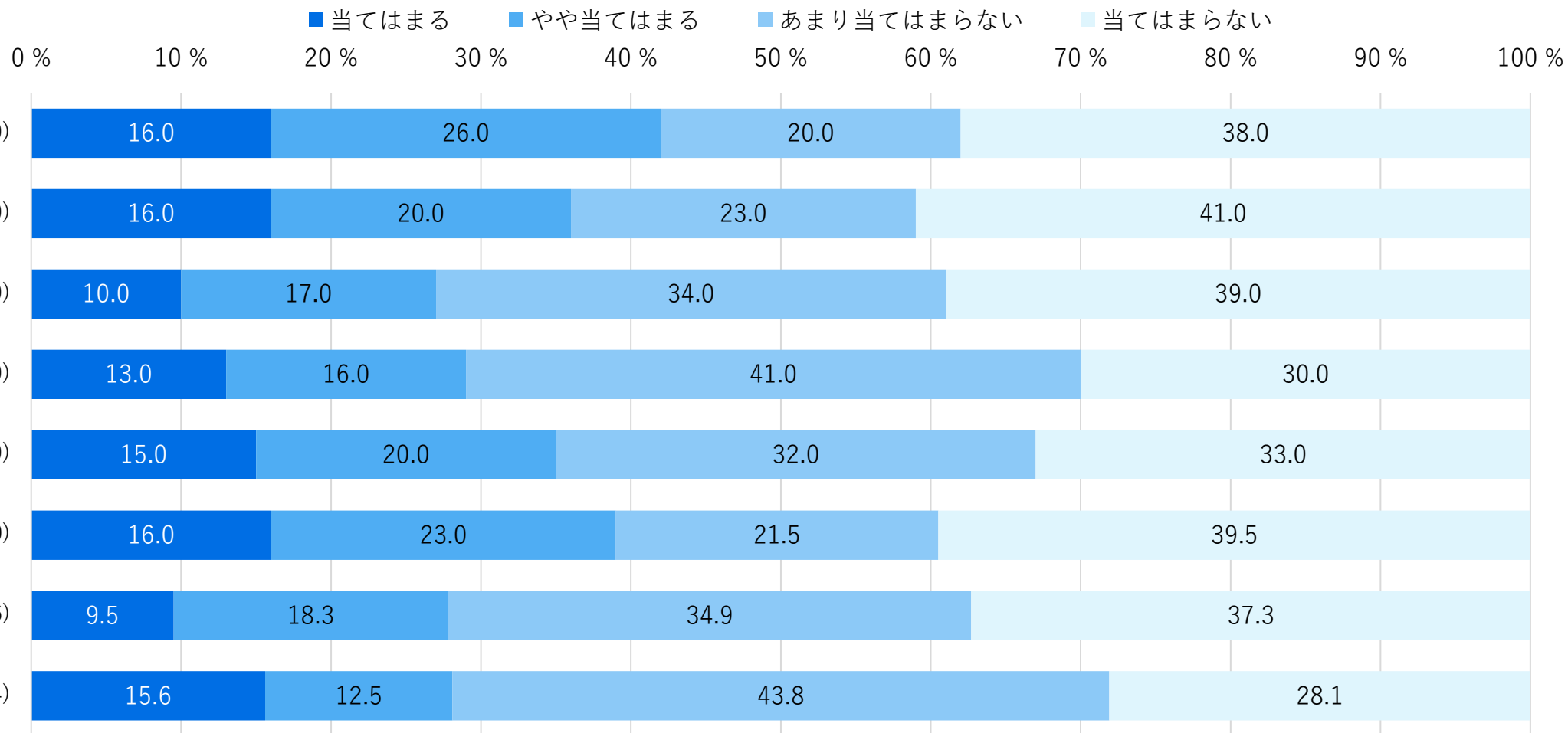
Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものお選びください。[SA] n=ALL(500)

✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものをお選びください。[SA] n=ALL(500)

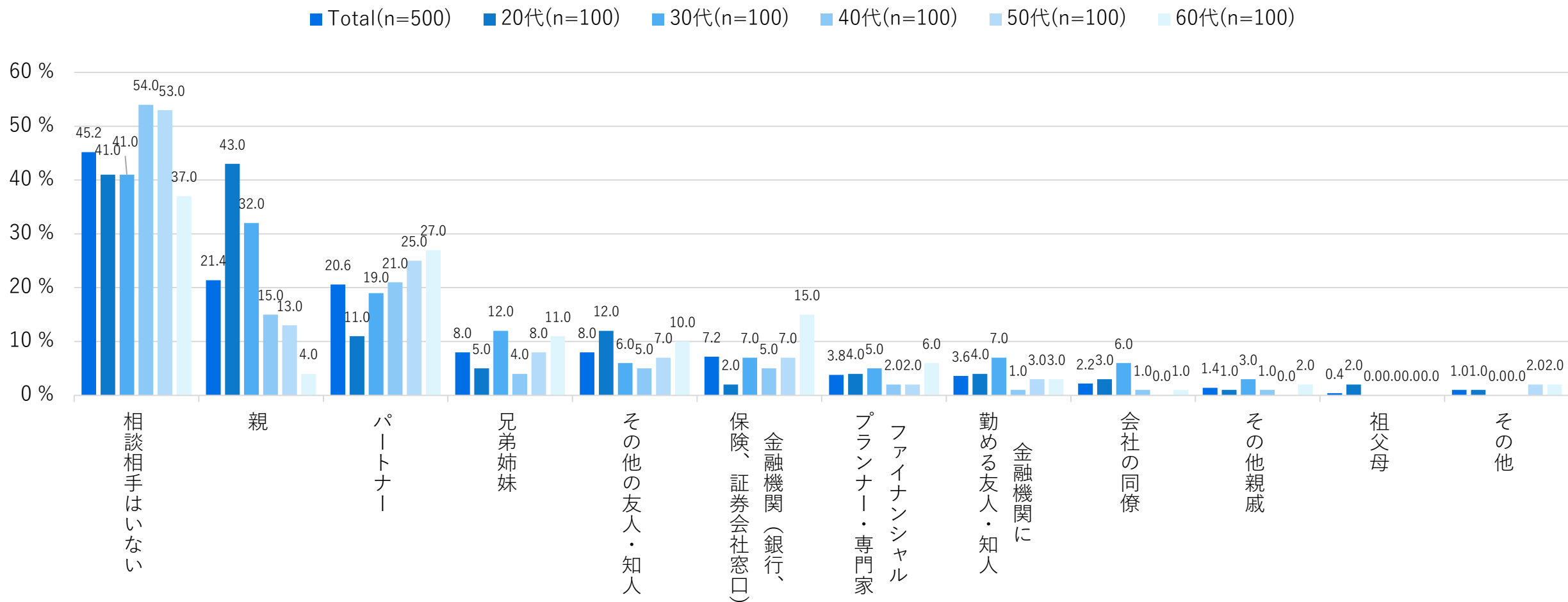
✓ 年代別、世代別の数値については以下の通り



Q6.資産形成(※保険、NISA、不動産投資、投資信託等)に関する以下の項目について当てはまるものお選びください。[SA] n=ALL(500)

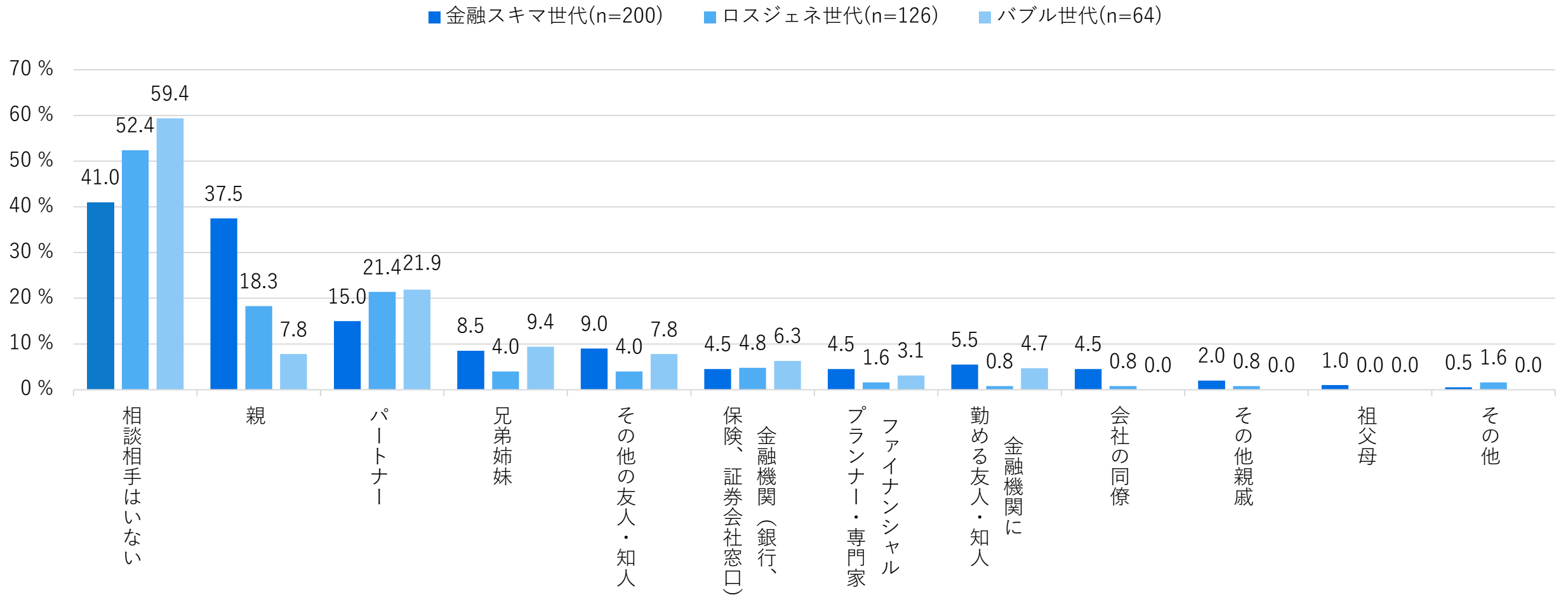
## お金に関する相談相手（年代別）

- ✓ お金に関する相談相手として「相談相手はいない（45.2%）」が最も多い
- ✓ 年代別では、40～50代の2人に1人が「相談相手はいない」と回答



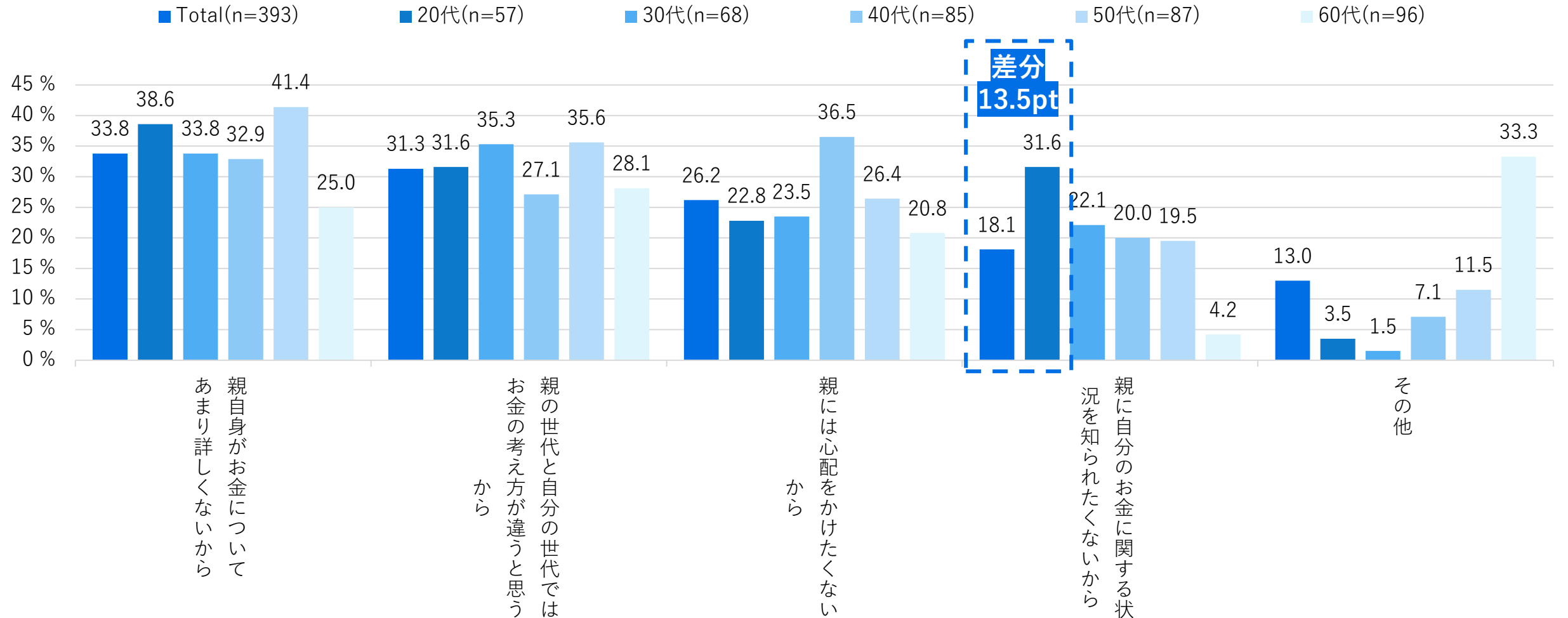


✓ 世代別では、ロスジェネ世代・バブル世代の2人に1人が「相談相手はいない」と回答



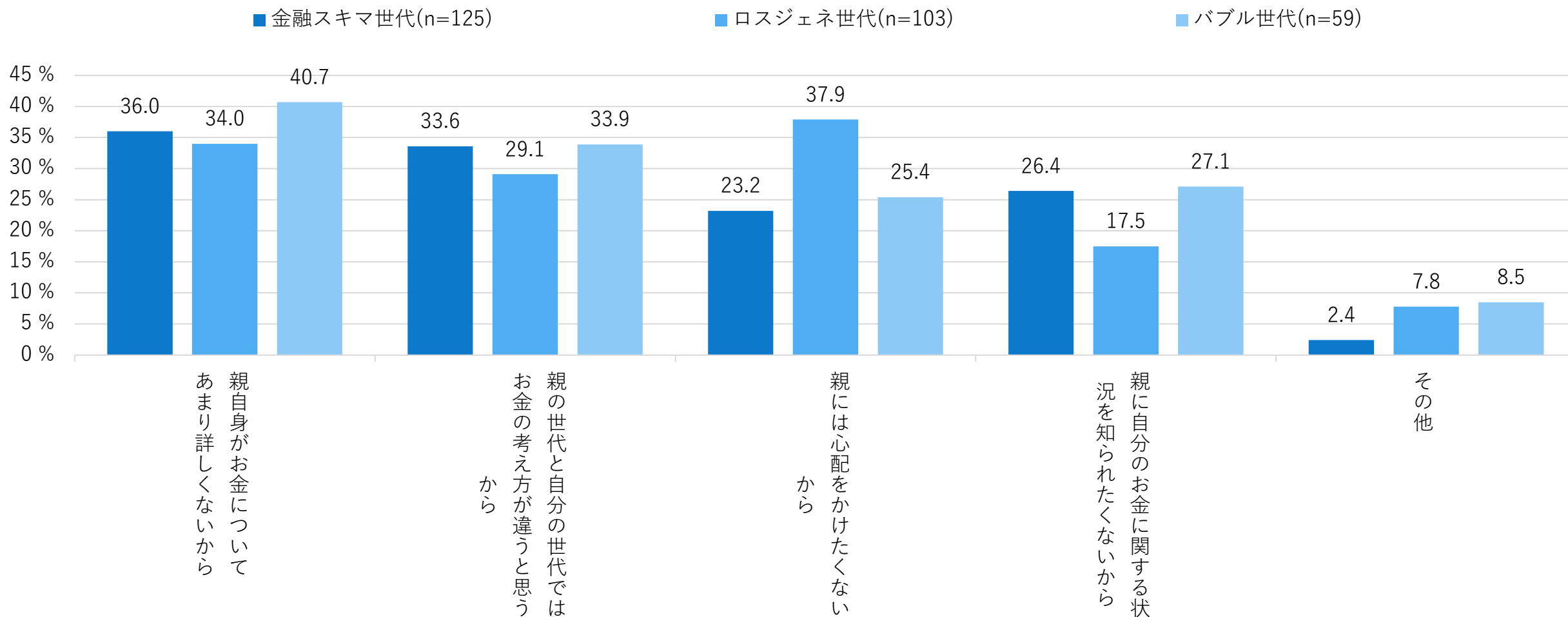
## 親にお金のことを相談しない理由（年代別）

- ✓ 親にお金のことを相談しない理由として、「親自身がお金についてあまり詳しくないから（33.8%）」が最も多い
- ✓ 年代別では、20代の「親に自分のお金に関する状況を知られたくないから（31.6%）」がTotal値と比べ10pt以上の差があり“状況を隠したい”という気持ちが強い傾向にある



Q8.前問で「親」を相談相手に選択しなかった方に伺います。その理由として当てはまるものを教えてください。[MA]n=お金の悩みに関する相談相手として「親」を選択しなかった方(393)

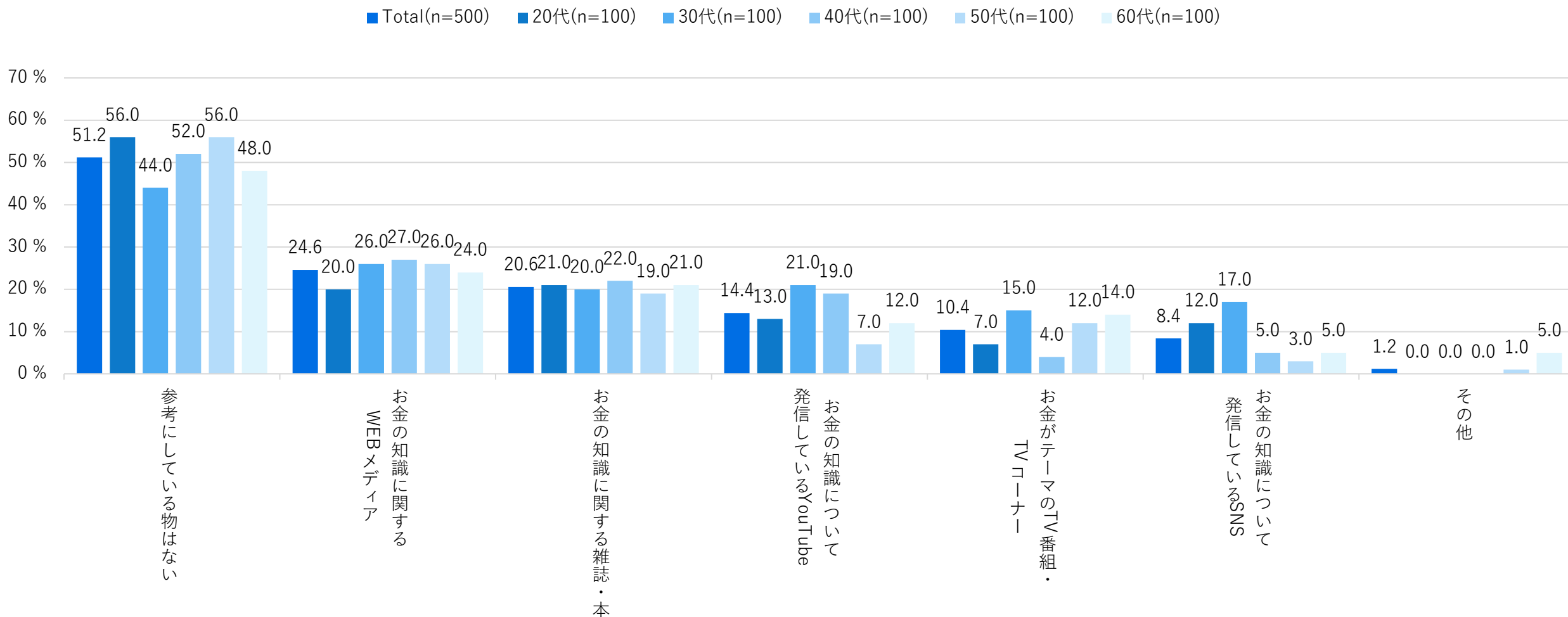
✓ 世代別では、ロスジェネ世代の「親には心配をかけたくないから（37.9%）」が他世代と比べ10pt以上の差があり特徴的である



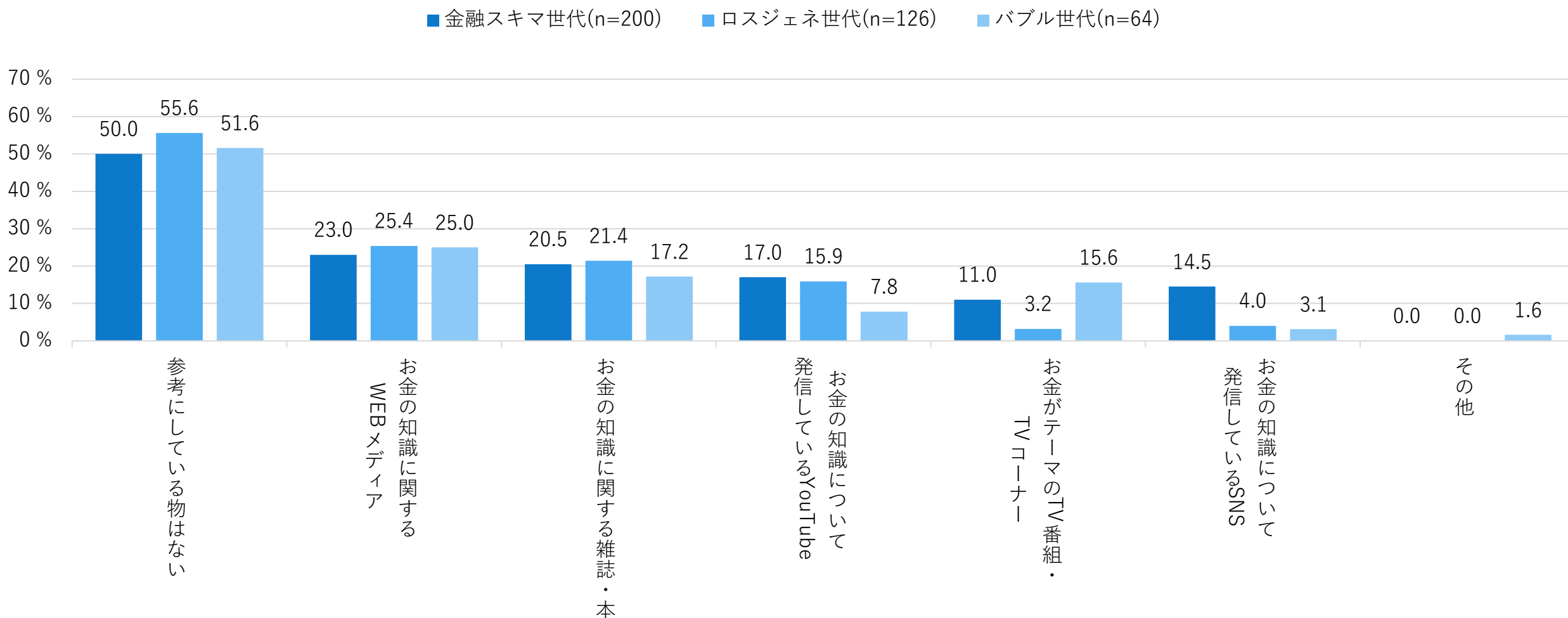
Q8.前問で「親」を相談相手に選択しなかった方に伺います。その理由として当てはまるものを教えてください。[MA]n=お金の悩みに関する相談相手として「親」を選択しなかった方(393)

# お金の知識習得のため参考になっている物（年代別）

- ✓ お金の知識習得のために参考になっているものは「参考になっている物はない（51.2%）」が最も多い
- ✓ 世代別においても、全年代「参考になっている物はない」のスコアが高い

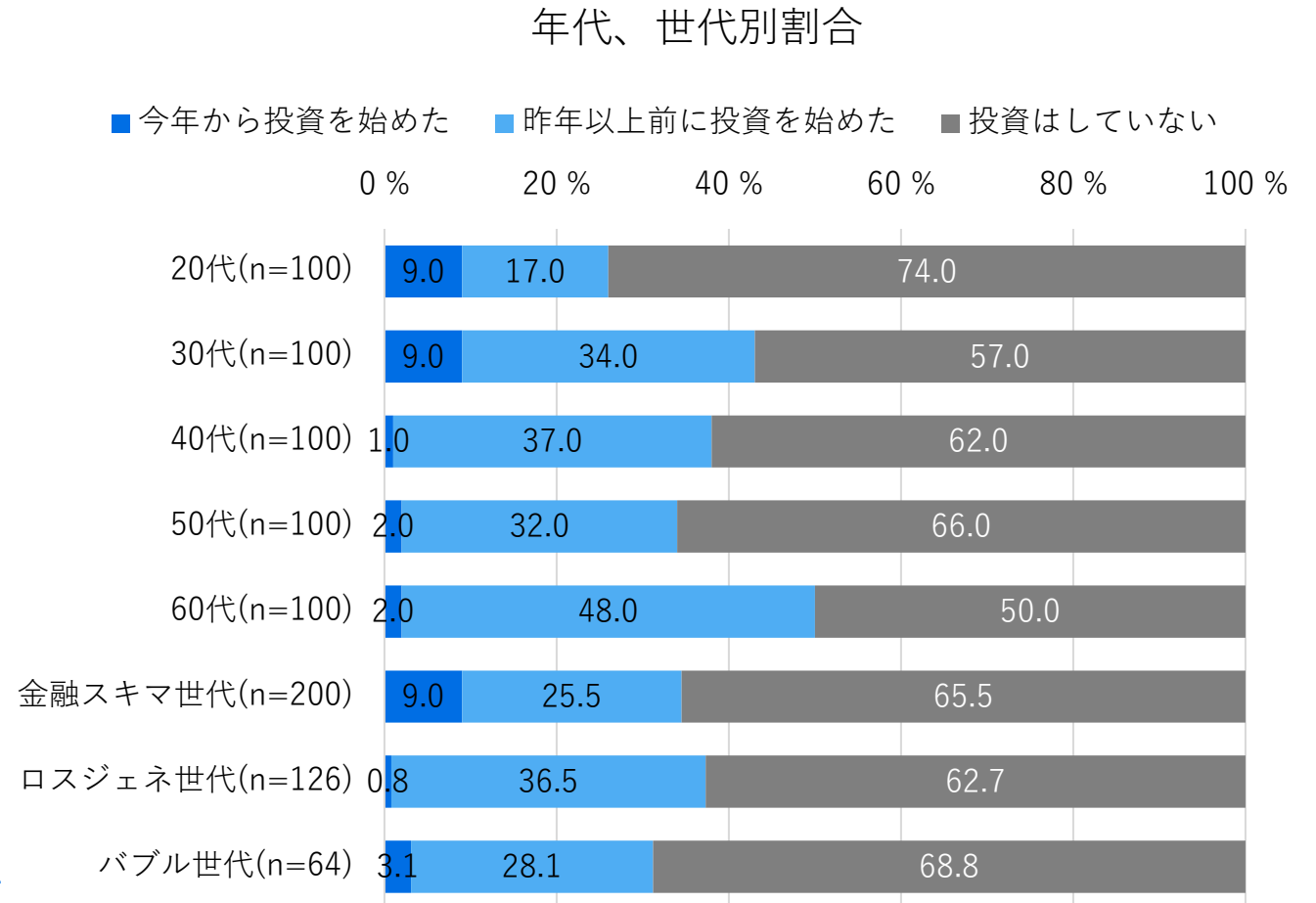
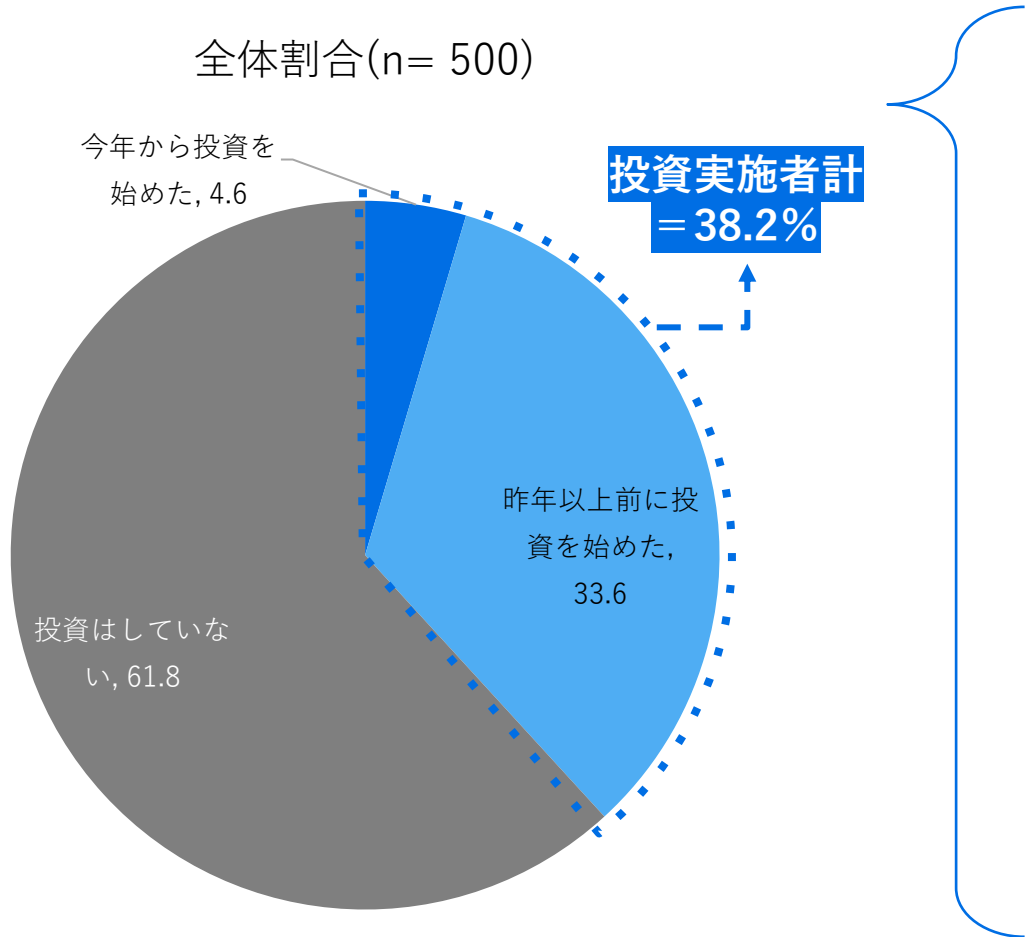


✓ 世代別においても、「参考になっている物はない」のスコアが高い



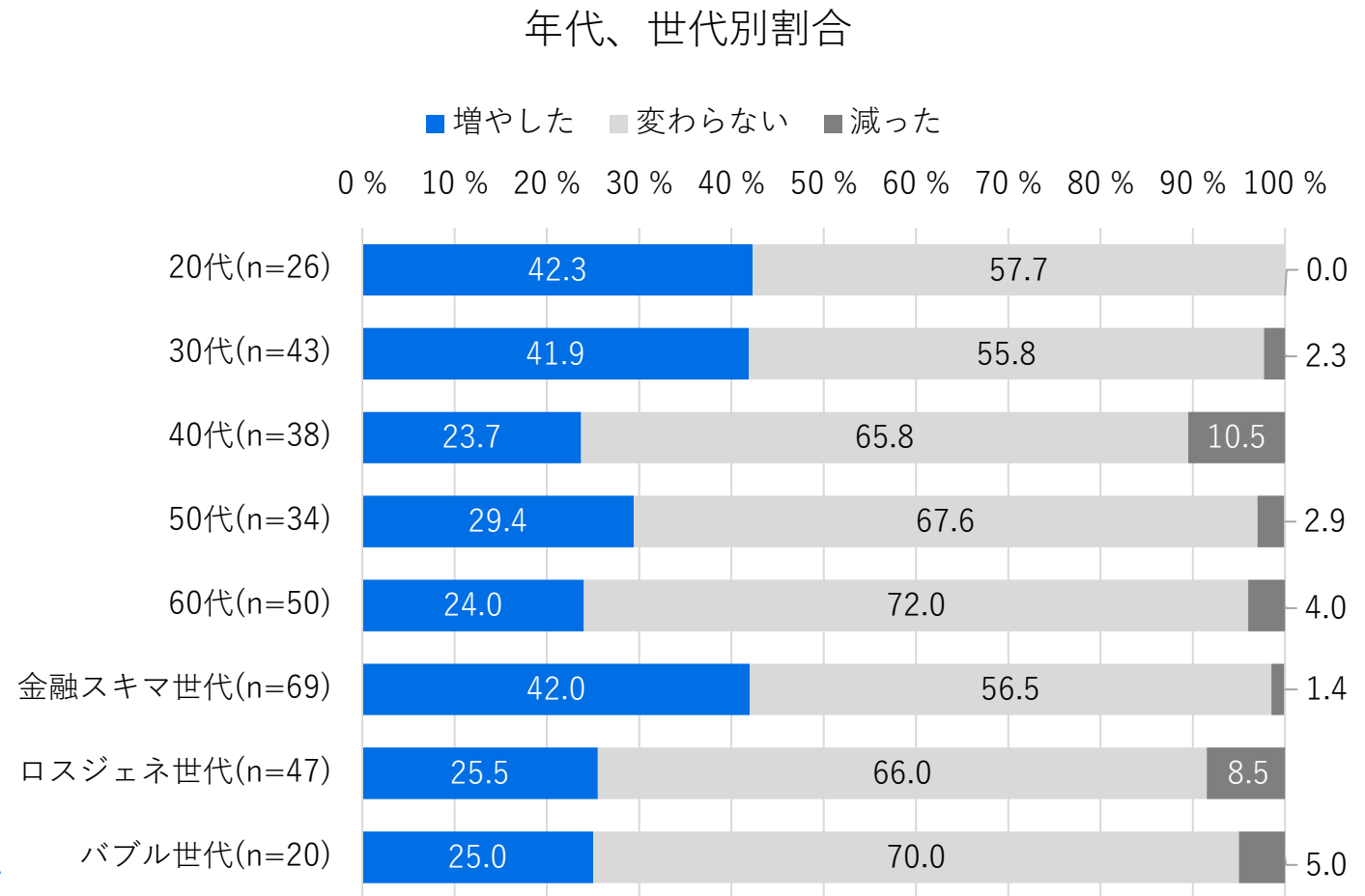
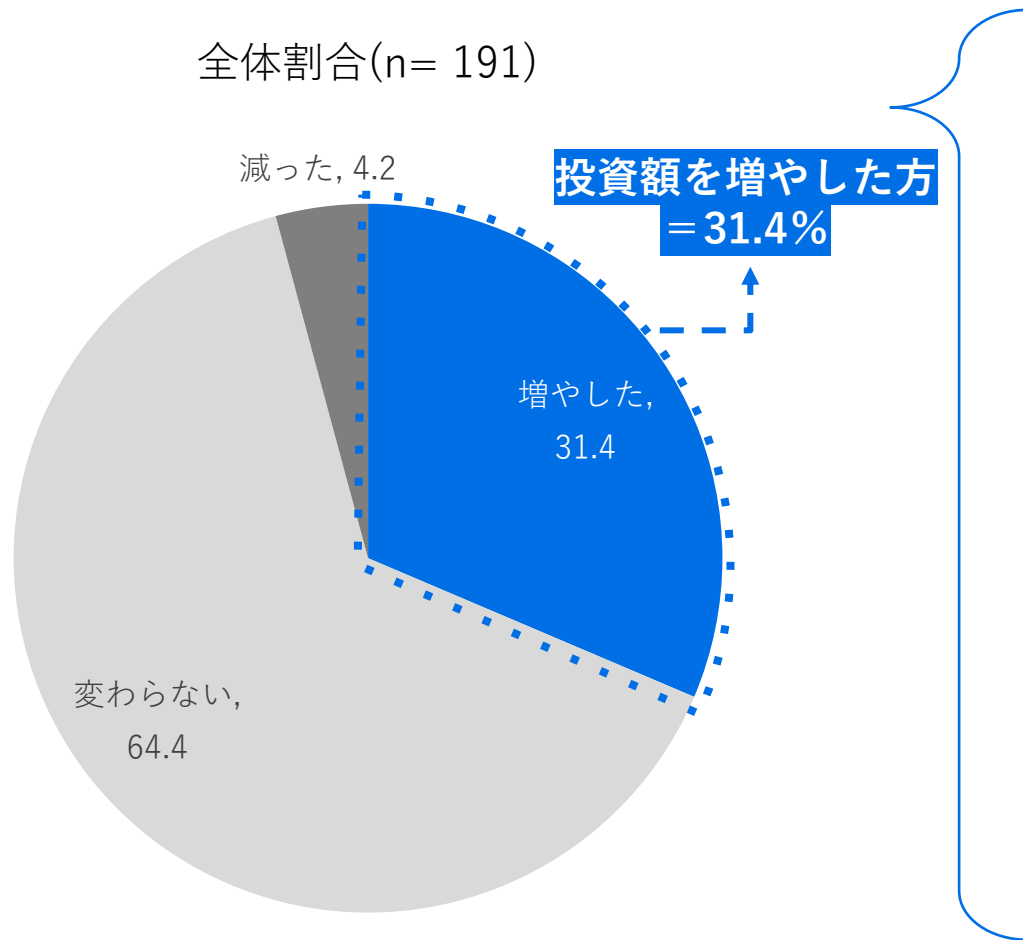
Q9.お金の知識について参考になっている物として、当てはまるものを教えてください。 [MA] n=ALL(500)

✓ 投資をしていると回答した方は38.2%



Q10.あなたは投資をしていますか。また、している方はいつから投資を始めましたか。あてはまるものをお選びください。 [SA] n=ALL(500)

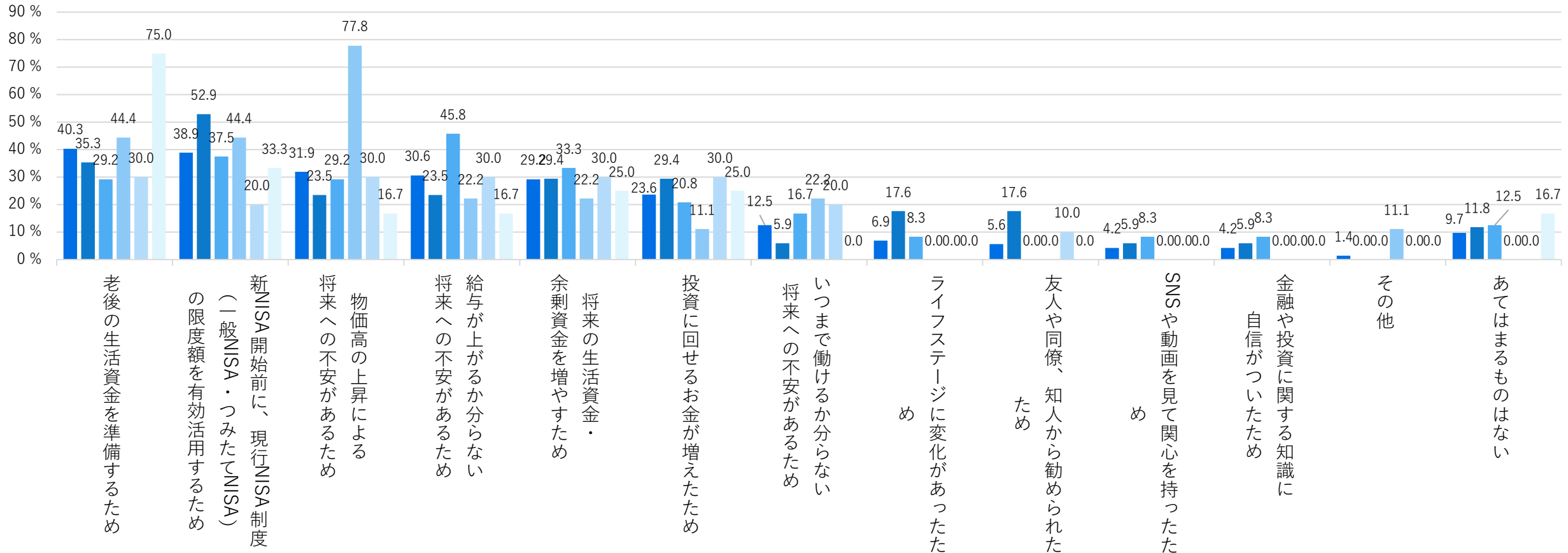
✓ 昨年と比べ投資額を増やしたと回答した人は、全体の31.4%



Q11.昨年(2022年)と今年(2023年)を比較し、あなたの投資額の変化を教えてください。[SA] n=投資をしている方(191)

✓ 投資を始めた/投資額を増やした理由として、「老後の生活資金を準備するため（40.3%）」  
 「新NISA開始前に、現行NISA制度の限度額を有効活用するため（38.9%）」と続いた

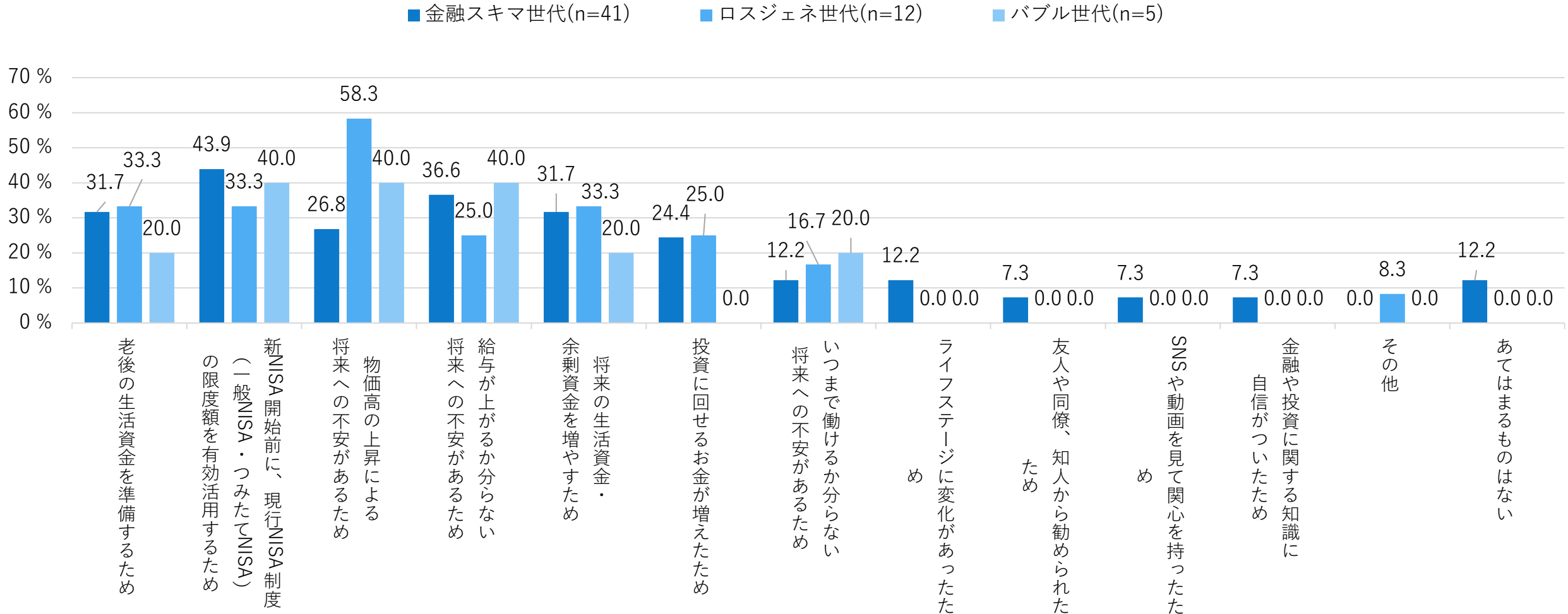
■ Total(n=72) ■ 20代(n=17) ■ 30代(n=24) ■ 40代(n=9) ■ 50代(n=10) ■ 60代(n=12)



Q12.今年から投資を始めた、または投資額を増やしたと回答した方に伺います。理由として当てはまるものをすべてお選びください。[MA]n=今年から投資を始めた、投資額を始めた方(72)



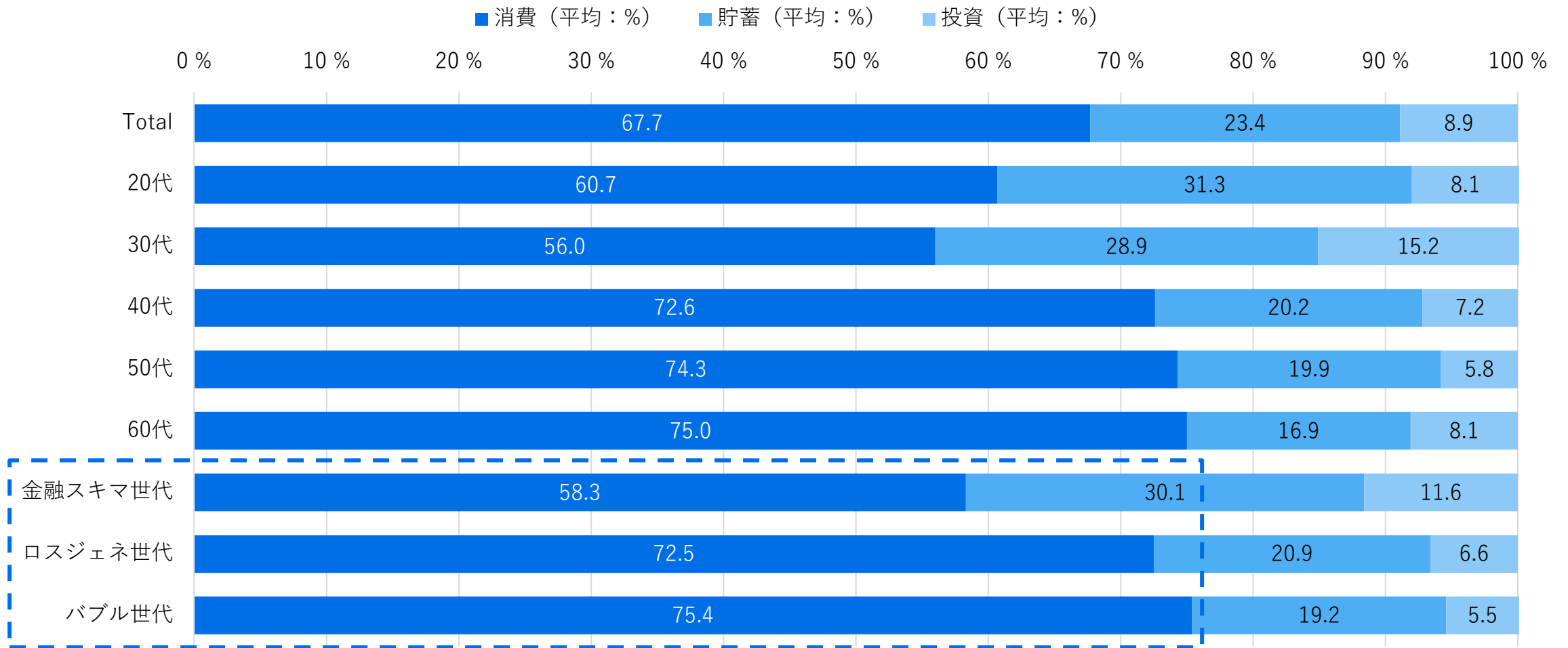
✓ 世代別では、金融スキマ世代の第一位「新NISA開始前に、現行NISA制度（一般NISA・つみたてNISA）の限度額を有効活用するため（43.9%）」となり特徴的である



Q12.今年から投資を始めた、または投資額を増やしたと回答した方に伺います。理由として当てはまるものをすべてお選びください。[MA]n=今年から投資を始めた、投資額を始めた方(72)

# 今年（2023年）の消費、貯蓄、投資の割合

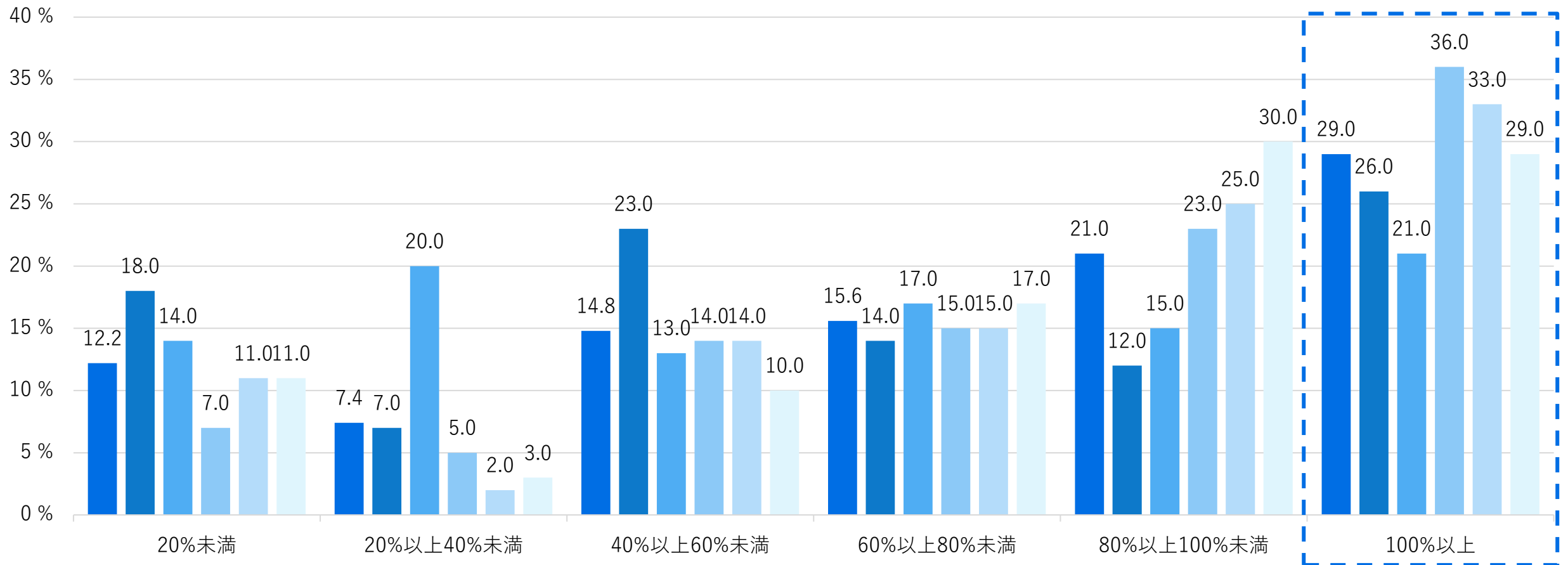
- ✓ 今年（2023年）の消費、貯蓄、投資の割合として「67.7%：23.4%：8.9%」となった
- ✓ 世代別では、金融スキマ世代の消費割合がロスジェネ世代、バブル世代と比べ10pt以上低い



Q13.収入を100とした場合、今年（2023年）の消費・貯蓄・投資の割合をそれぞれ教えて下さい。（消費、貯蓄、投資：%）[NUM] n=ALL(500)

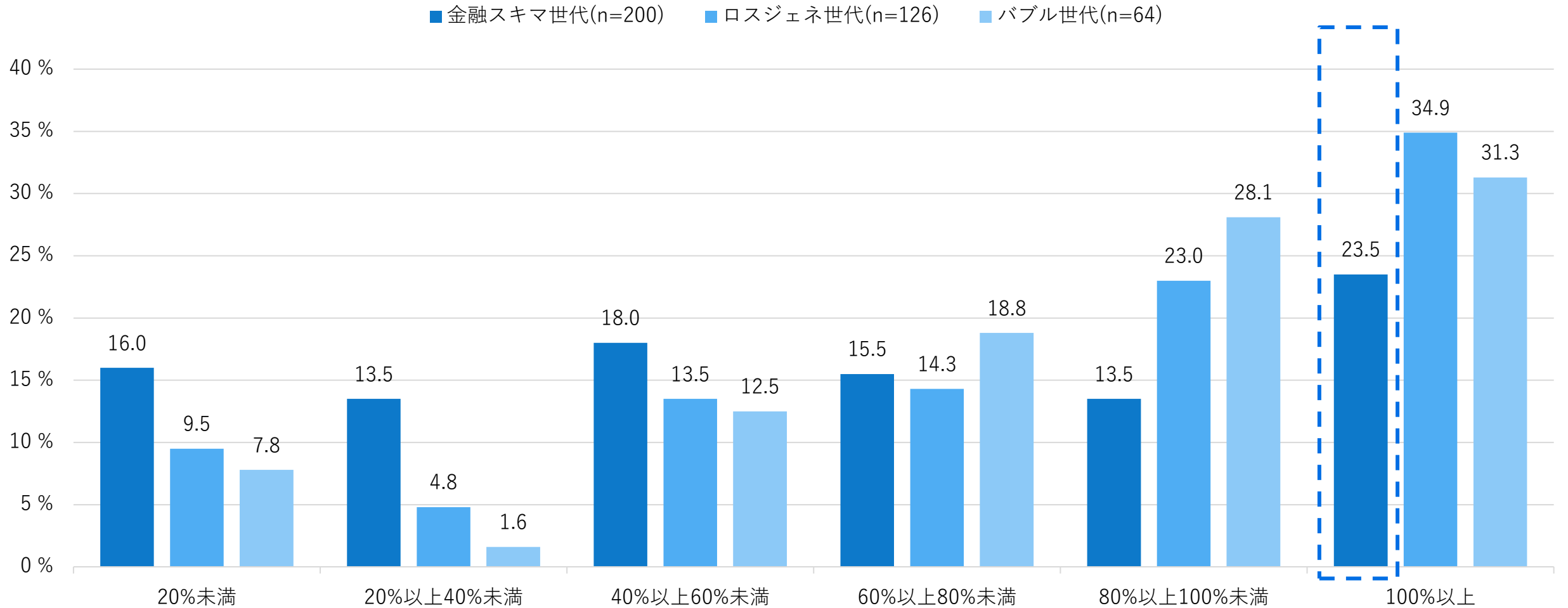
✓ 今年の消費額は、昨年と比べ「100%以上」と回答した方が多く消費する金額が増えた傾向に

■ Total(n=500) ■ 20代(n=100) ■ 30代(n=100) ■ 40代(n=100) ■ 50代(n=100) ■ 60代(n=100)



Q14.消費・貯蓄・投資の増減について昨年（2022年）と比較してどれくらい変化がありましたか。昨年を100%としてお答えください。（消費：%）[NUM] n=ALL(500)

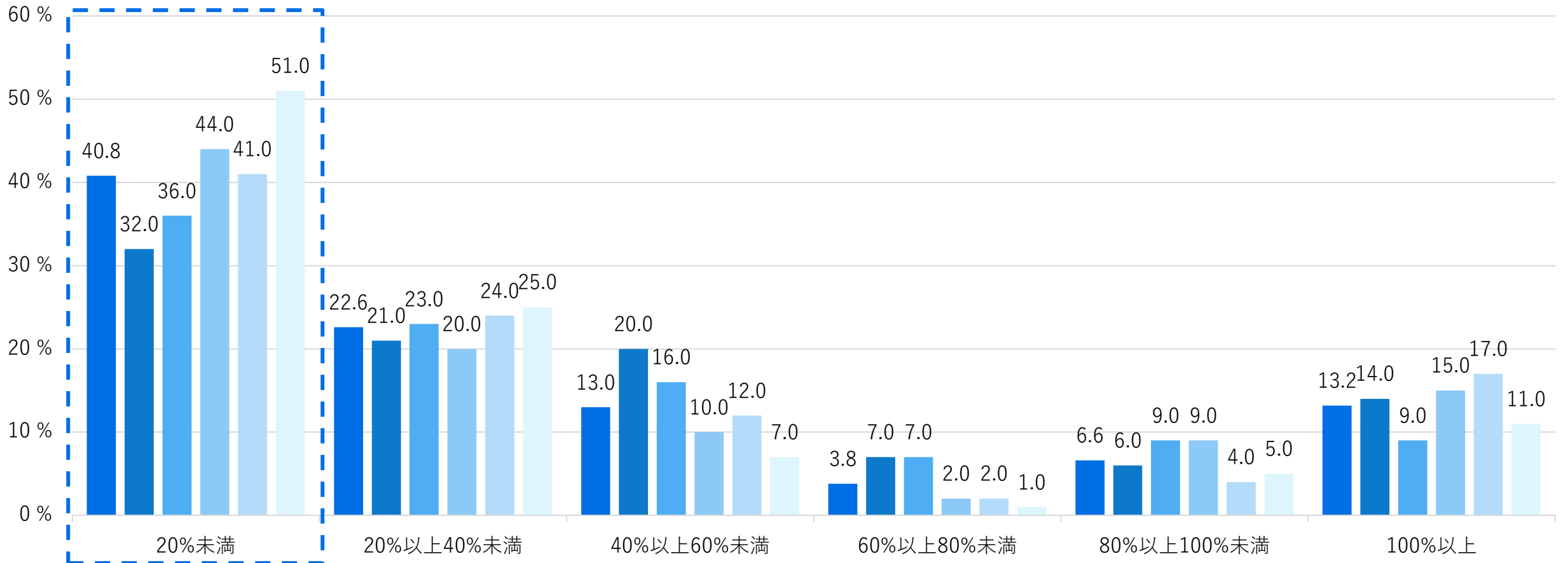
✓ 世代別においては、金融スキマ世代の「100%以上」の数値が他世代と比べ少ない



Q14.消費・貯蓄・投資の増減について昨年（2022年）と比較してどれくらい変化がありましたか。 昨年を100%としてお答えください。（消費：%）[NUM] n=ALL(500)

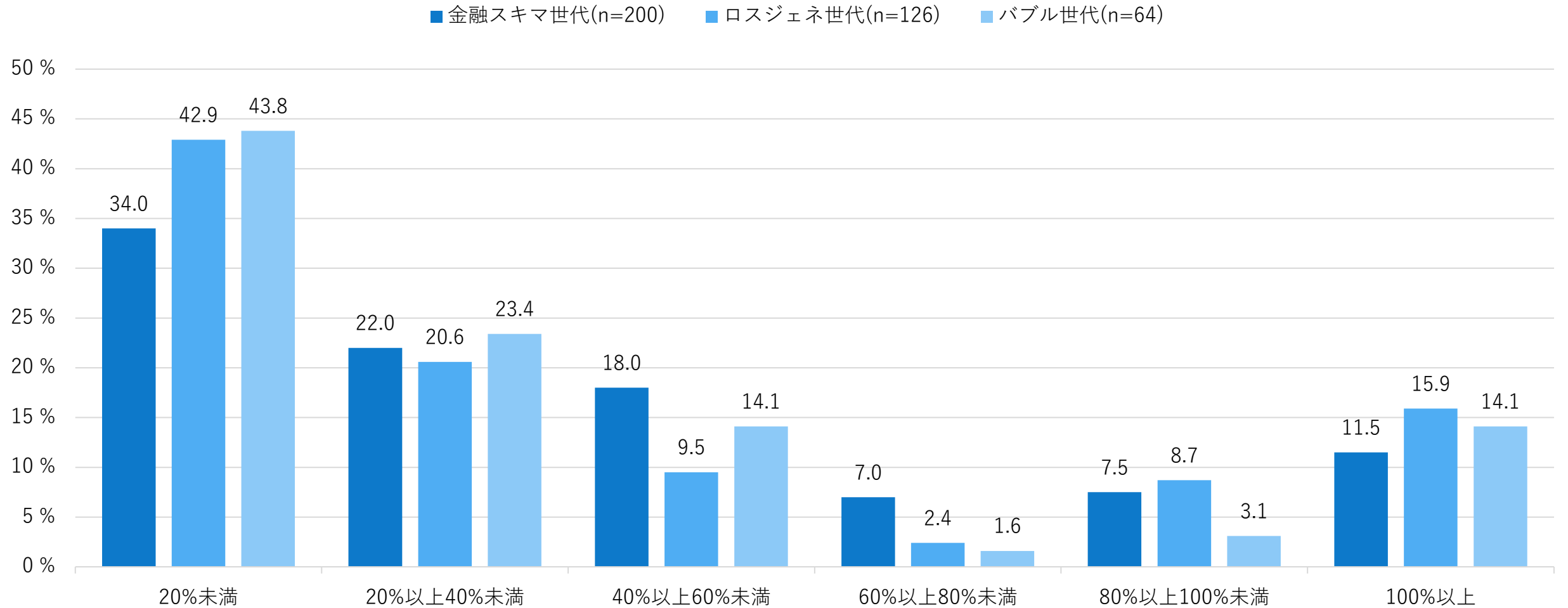
✓ 今年の貯蓄額は、昨年と比べ「20%未満」と回答した方が多く貯蓄に回す金額が減った傾向に

■ Total(n=500) ■ 20代(n=100) ■ 30代(n=100) ■ 40代(n=100) ■ 50代(n=100) ■ 60代(n=100)



Q14.消費・貯蓄・投資の増減について昨年（2022年）と比較してどれくらい変化がありましたか。昨年を100%としてお答えください。（貯蓄：%）[NUM] n=ALL(500)

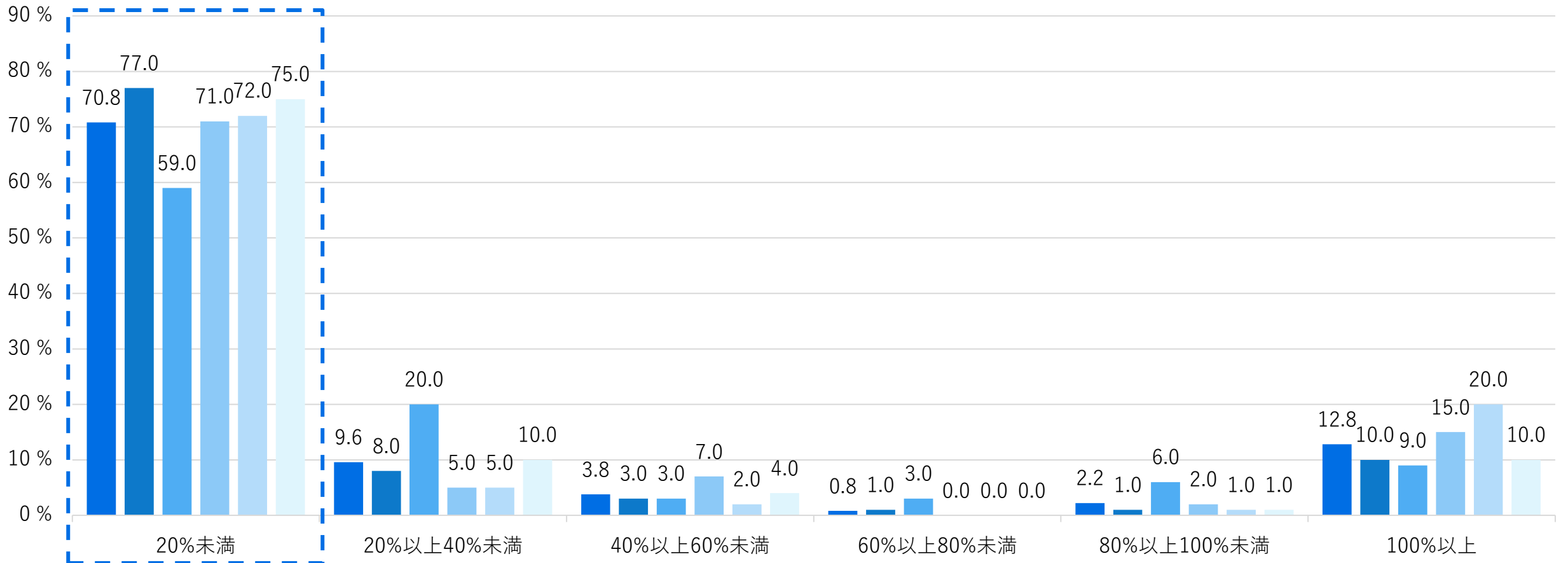
✓ 世代別においては、金融スキマ世代の「20%未満」の数値が他世代と比べ少ない



Q14.消費・貯蓄・投資の増減について昨年（2022年）と比較してどれくらい変化がありましたか。 昨年を100%としてお答えください。（貯蓄：%）[NUM] n=ALL(500)

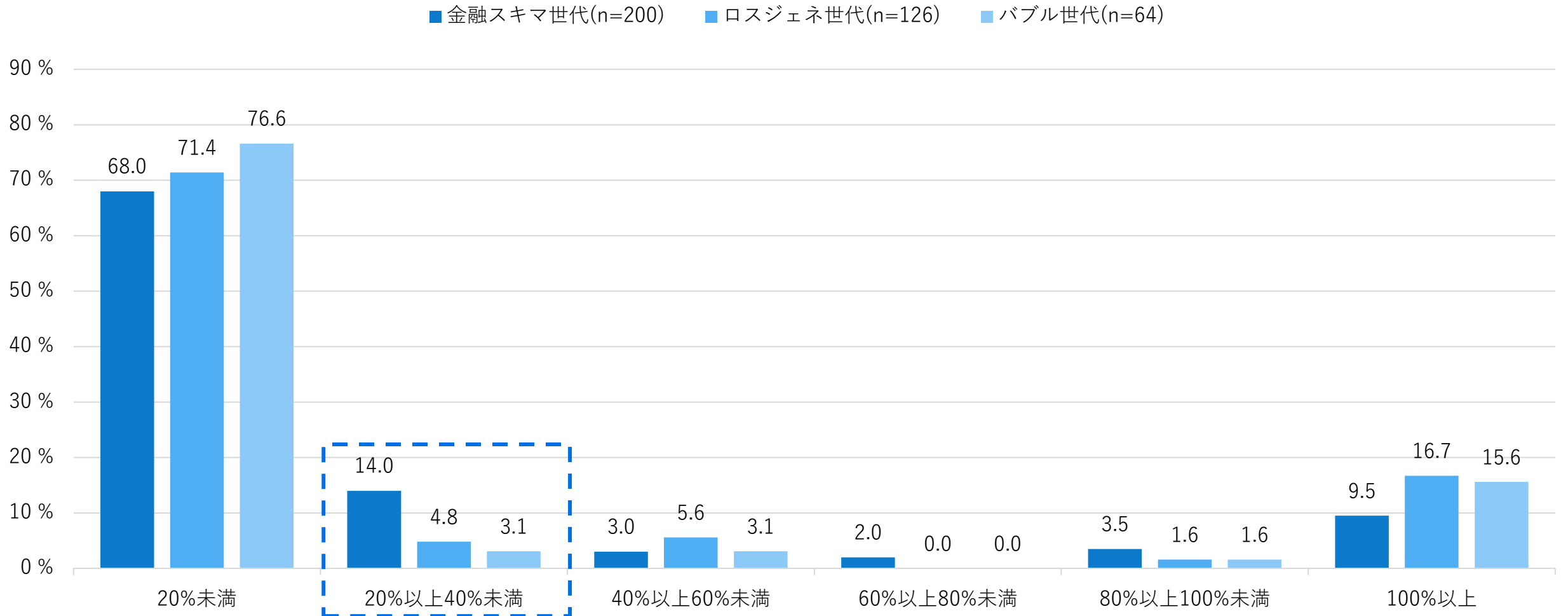
✓ 今年の投資額は、昨年と比べ「20%未満」と回答した方が多く投資に回す金額が減った傾向に

■ Total(n=500) ■ 20代(n=100) ■ 30代(n=100) ■ 40代(n=100) ■ 50代(n=100) ■ 60代(n=100)



Q14.消費・貯蓄・投資の増減について昨年（2022年）と比較してどれくらい変化がありましたか。昨年を100%としてお答えください。（投資：%）[NUM] n=ALL(500)

✓ 世代別においては、金融スキマ世代の「20%以上40%未満」の数値が他世代と比べ、5pt以上の差があり、投資に使う金額の割合はわずかに多いと推察される

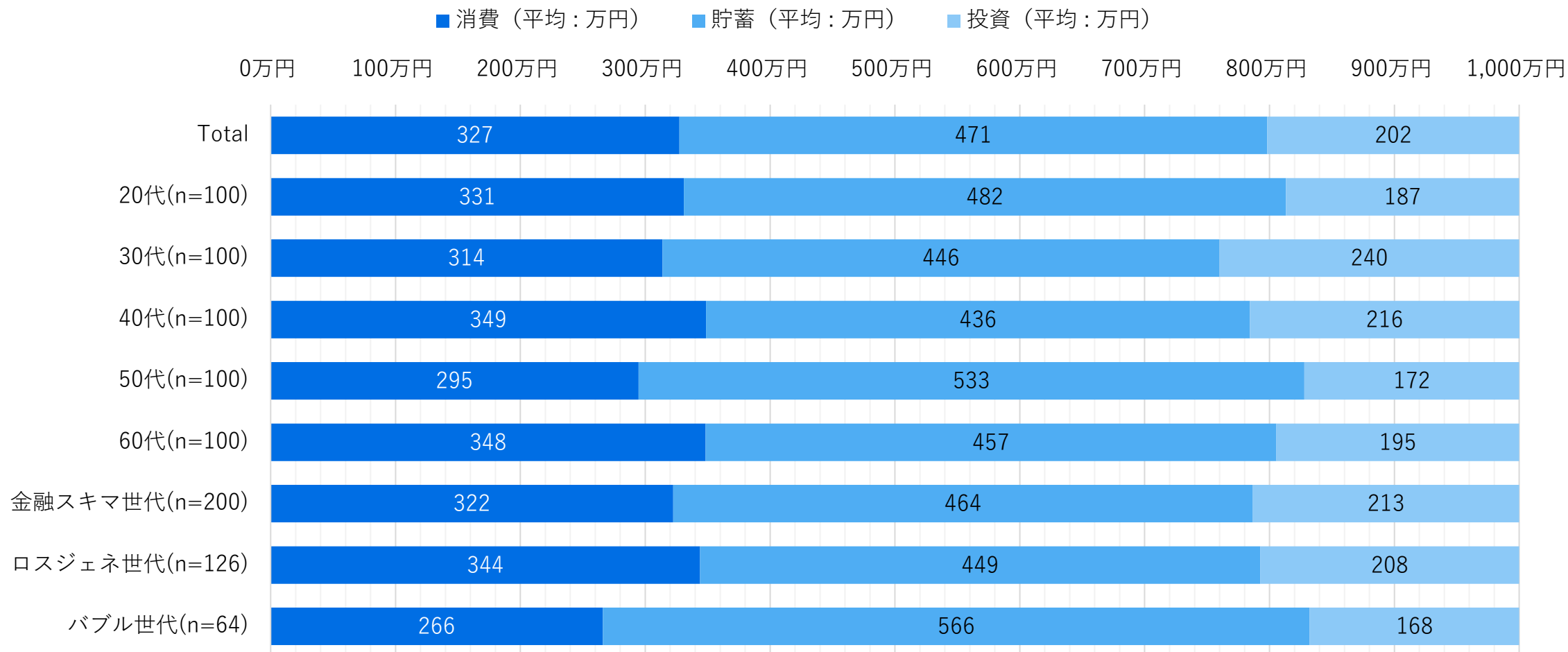


Q14.消費・貯蓄・投資の増減について昨年（2022年）と比較してどれくらい変化がありましたか。昨年を100%としてお答えください。（投資：%）[NUM] n=ALL(500)



## もし、1,000万円あった場合の使い道（平均）

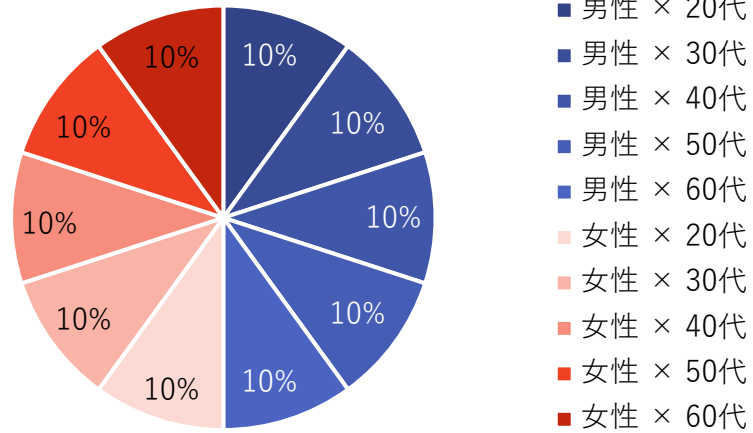
- ✓ もし、1,000万円あった場合の使い道として「貯蓄（471万円）」が最も多い
- ✓ 各世代の使用額TOPとして、消費：「ロスジェネ世代（344万円）」貯蓄：「バブル世代（566万円）」投資：「金融スキマ世代（213万円）」となった



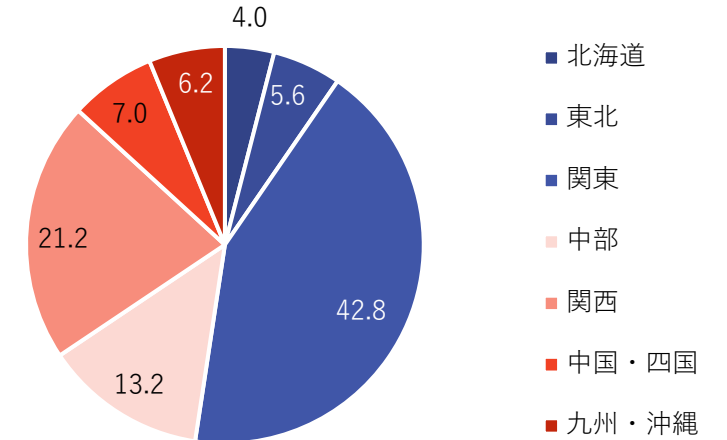
Q15.もし1,000万円あったら、消費・貯蓄・投資にそれぞれどれくらい使いますか。それぞれの使用額を教えてください。（消費、貯蓄、投資：万円） [NUM] n=ALL(500)

# 回答者属性

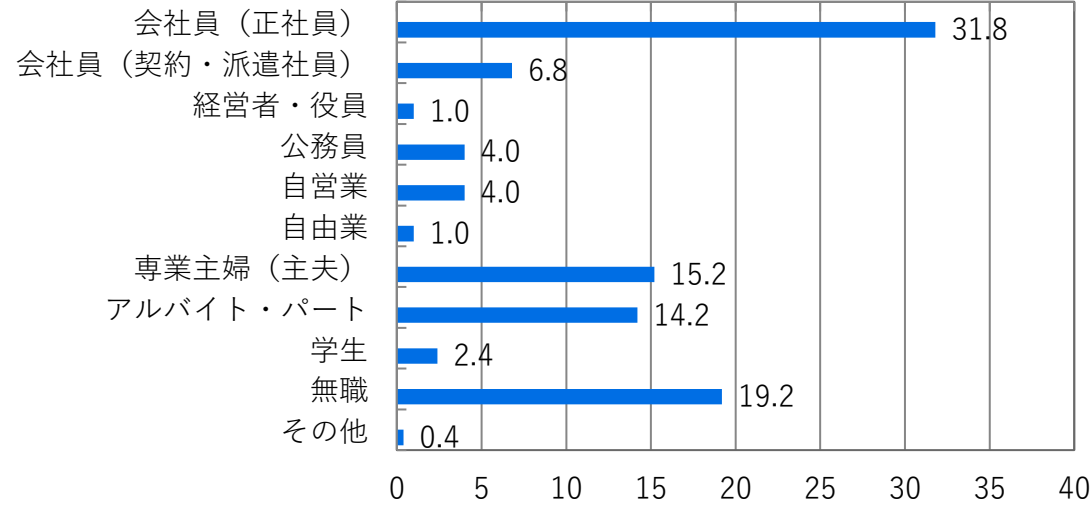
## 性年代



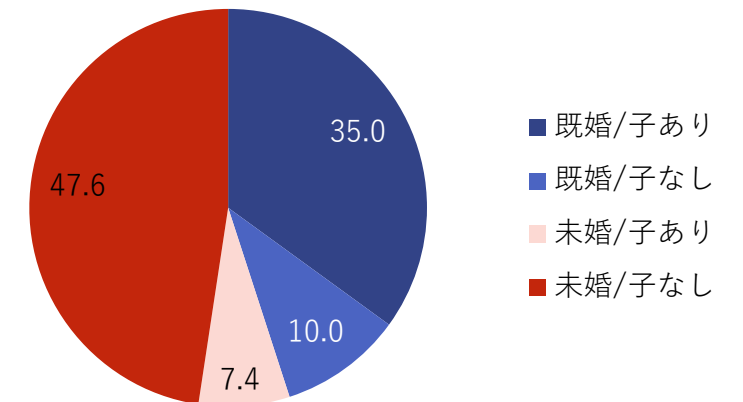
## 居住地



## 職業

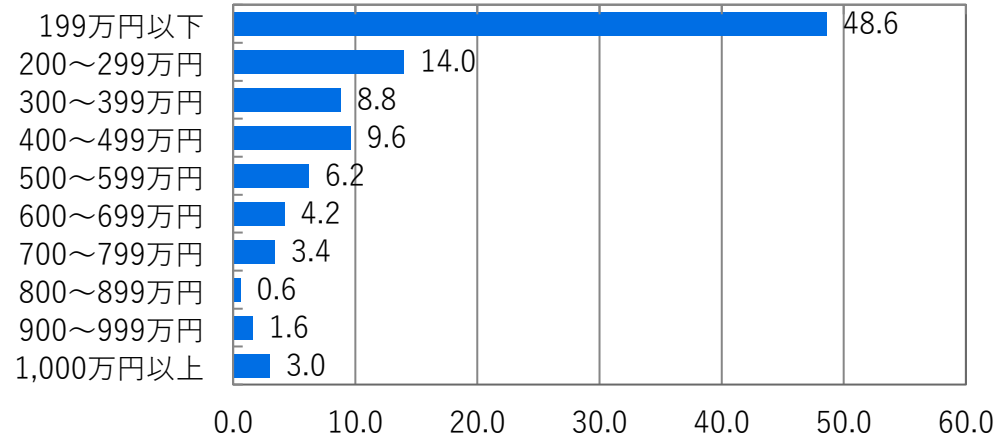


## 未既婚

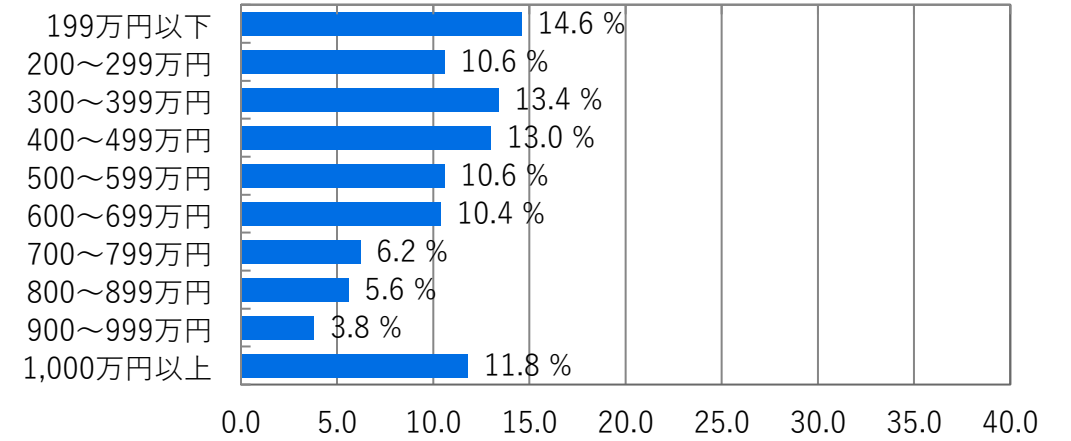


# 回答者属性

## 個人年収



## 世帯年収



---

Appendix

# 調査画面一覧

---

SQ1.  
あなたの性別をお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

- 男性  
 女性

SQ2.  
あなたの年齢をお知らせください。

【必須】

歳

SQ3.  
あなたのお住まいをお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

(回答を選択してください) ▼

SQ4.  
あなたの職業をお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

- 会社員 (正社員)  
 会社員 (契約・派遣社員)  
 経営者・役員  
 公務員  
 自営業  
 自由業  
 専業主婦 (主夫)  
 アルバイト・パート  
 学生  
 無職  
 その他

SQ5.  
あなたは結婚していますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 既婚/子あり  
 既婚/子なし  
 未婚/子あり  
 未婚/子なし

SQ6.  
あなたの年収を教えてください。



(縦にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	個人 年収	世帯 年収
199万円以下	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
200~299万円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
300~399万円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
400~499万円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
500~599万円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
600~699万円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
700~799万円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
800~899万円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
900~999万円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1,000万円以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q1.  
昨年 (2022年) と今年 (2023年) を比較し、  
あなたの収入と支出の変化をそれぞれ教えてください。



(縦にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	収入	支出
増えた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
変わらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
減った	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2.  
前問で収入が増えたと回答した方に伺います。  
その理由として当てはまるものを全て教えてください。

(いくつでも) 【必須】

- 投資  
 転職  
 昇進  
 昇給 (基本給、賞与)  
 副業  
 その他

Q3.  
収入または支出が増えたとお伺いします。  
昨年 (2022年) と今年 (2023年) を比較し、月ごとの程度収入または支出は増えましたか。

【必須】

収入  円

支出  円

Q4.  
あなたは、将来に向けてお金に関する不安を感じることはありますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 不安を感じる  
 やや不安を感じる  
 あまり不安を感じない  
 不安を感じない

Q5.  
あなたは将来を見据え資産形成 (※保険、NISA、不動産投資、投資信託等) をしていますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- している  
 したいと思っているが、できていない  
 しておらず、今後する予定もない

Q6. 資産形成（※保険、NISA、不動産投資、投資信託等）に関する以下の項目についてあてはまるものをお選びください。

 (横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	当てはまる	当てはまる	当てはまる	当てはまる
資産形成について分からない・判断できないことが多く、金融リテラシーを身に付ける必要性を感じている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産形成について、気軽に相談できる相手がいない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産形成について、誰に聞いたらよいか分からない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産形成に興味があり、現在情報収集しながらある程度理想的な資産形成のイメージはできているが、行動に移せていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産形成に興味があり、現在情報収集しているが、何が正しい情報が、自分に合っているのか判断ができず行動に移せていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報収集しながら自分に合った資産形成を検討・実施できていると感じている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産形成について考えたことがない、興味がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産形成について、自分には必要がないと感じている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産形成に興味があるが、資金がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産形成に対してネガティブなイメージがあり、前向きに検討できない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q7. お金に関する悩みの相談相手として、当てはまる人を教えてください。

- (いくつでも) 【必須】
- 相談相手はいない
  - 親
  - パートナー
  - 祖父母
  - 兄弟姉妹
  - その他親戚
  - 金融機関に勤める友人・知人
  - その他の友人・知人
  - 会社の同僚
  - 金融機関（銀行、保険、証券会社窓口）
  - ファイナンシャルプランナー・専門家
  - その他

Q8. 前問で「親」を相談相手に選択しなかった方に伺います。その理由として当てはまるものを教えてください。

- (いくつでも) 【必須】
- 親の世代と自分の世代ではお金の考え方が違うと思うから
  - 親自身がお金についてあまり詳しくないから
  - 親には心配をかけたくないから
  - 親に自分のお金に関する状況を知られたくないから
  - その他

Q9. お金の知識について参考になっている物として、当てはまるものを教えてください。

- (いくつでも) 【必須】
- 参考になっている物はない
  - お金の知識に関する雑誌・本
  - お金の知識に関するWEBメディア
  - お金の知識について発信しているYouTube
  - お金の知識について発信しているSNS
  - お金がテーマのTV番組・TVコーナー
  - その他

Q10. あなたは投資をしていますか。また、している方はいつから投資を始めましたか。あてはまるものをお選びください。

- (ひとつだけ) 【必須】
- 今年から投資を始めた
  - 昨年以前に投資を始めた
  - 投資はしていない

Q11. 昨年（2022年）と今年（2023年）を比較し、あなたの投資額の変化を教えてください。

- (ひとつだけ) 【必須】
- 増やした
  - 変わらない
  - 減った

Q12. 今年から投資を始めた、または投資額を増やしたと回答した方に伺います。理由として当てはまるものすべてをお選びください。

- (いくつでも) 【必須】
- 新NISA開始前に、現行NISA制度（一般NISA・つみたてNISA）の限度額を有効活用するため
  - 物価高の上昇による将来への不安があるため
  - いつまで働けるか分からない将来への不安があるため
  - 給与が上がるか分からない将来への不安があるため
  - 老後の生活資金を準備するため
  - ライフステージに変化があったため
  - 投資に回せるお金が増えたため
  - 将来の生活資金・余剰資金を増やすため
  - 友人や同僚、知人から勧められたため
  - SNSや動画を見て関心を持ったため
  - 金融や投資に関する知識に自信がついたため
  - その他
  - あてはまるものはない

Q13. 収入を100とした場合、今年（2023年）の消費・貯蓄・投資の割合をそれぞれ教えてください。

- 【必須】
- 消費  %
  - 貯蓄  %
  - 投資  %

Q14. 消費・貯蓄・投資の増減について昨年（2022年）と比較してどれくらい変化がありましたか。昨年を100%としてお答えください。

- 【必須】
- 消費  %
  - 貯蓄  %
  - 投資  %

Q15. もし1000万円あったら、消費・貯蓄・投資にそれぞれどれくらい使いますか。それぞれの使用額を教えてください。

- 【必須】
- 消費  万円
  - 貯蓄  万円
  - 投資  万円